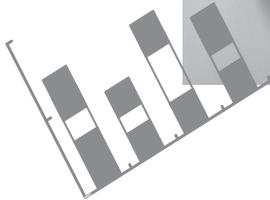
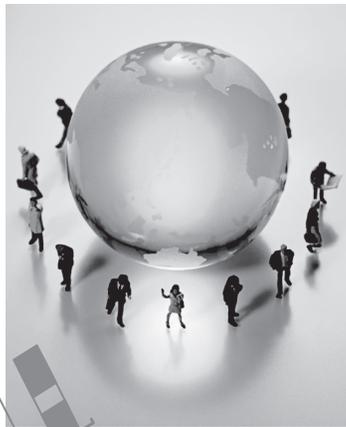


厚生労働省委託事業

在宅ワーク実践テキスト 実践・応用編

仕事を獲得するための 情報ノウハウ



財団法人社会経済生産性本部
<http://www.homeworkers.jp/>

はじめに

在宅ワークをしてみたいと思いついたとき、ほとんどの方は過去に雇われた経験の延長で仕事を探そうとします。

- ・ 会社は毎月安定した給料を払ってくれた。
- ・ 会社は自分のために仕事を与えてくれた。
- ・ 会社は仕事のやり方がわからなければ教えてくれた。

正社員であってもパート・アルバイトなどであっても、会社が面倒をみてくれたことに違いはありません。

ところが、在宅ワークにはそういう面倒をみってくれる「会社」が存在しません。

- ・ 誰が自分にお金をくれるのか。
- ・ 自分は何の仕事をするべきなのか。
- ・ その仕事で困ったら誰が教えてくれるのか。

誰もがぼうぜんとしてしまいます。何から手を付けたらいいのでしょうか。

■人的ネットワークをつくる

在宅ワークを始めるためには、「人的ネットワーク」をつくるのが重要です。

人的ネットワークは人脈とも呼ばれます。仕事を発注してくれる人、仕事でわからないことがあったら相談に乗ってくれる人、助け合える仲間、そういう人たちが在宅ワークには必要なのです。特に、発注者を見つけることは、会社員として働きたい人の「就職活動」に相当する、最も重要なプロセスです。

もちろん、誰かのお世話になるだけが人的ネットワークではありません。あなたが誰かの相談に乗ることもできます。人にアドバイスしたり教えたりすると、面白いことに本人も成長します。でたらめを言うてはいけなないと、真剣に考えたり調べたりするからです。

在宅ワークでは、一人での仕事に限らず、品質を確保できるのであれば、今度はあなたが仕事を発注することもできます。さらには、みんなで違う技術を持ち寄って、一つの大きな仕事を仕上げることもできるのです。

■グループワークに挑戦

この「実践・応用編」では、まず第1章の前半で、人的ネットワークを作るための方法や注意点について取り上げています。自宅で仕事をするからといって孤立してはいけません。できる在宅ワーカーはしっかりした人的ネットワークを作り上げています。

発注者・仕事仲間・アドバイザーを一気に兼ねる人的ネットワークとして、「グループワーク」があります。グループワークとは、文字通りグループを組んで仕事をする形態です。第1章後半では、このグループワークについて解説しています。いいグループにめぐり会うためには、人的ネットワーク

が必要です。また、グループを探すより自分でグループを作る方が向いているタイプの人もあります。いいメンバーを探すためには、ここでもやっぱり人的ネットワークということになります。つまり第1章の前半と後半はぐるぐると円環を描いてつながっているのです。

■自分に合う在宅ワークを見つけるために

第2章は「職種&業務別 仕事情報」です。この本を手にとったあなたは、もう在宅ワークとしてやりたい職種を決めているでしょうか。

ばくぜんと、「何の技術もないならデータ入力から始めるのがいい」などと聞いているかもしれません。これは一昔前なら当てはまった話です。今活躍している在宅ワーカーには、データ入力からスタートして、やがて自分に合う職種を見つけて定着したという人がたくさんいます。

けれども、今やパソコン入力は誰でもできます。その分、かえってデータ入力者に求められる精度や処理スピードは年々高くなっています。一方、個人情報保護法などの影響で、データ入力は在宅ワーカーに発注される量が減っているようです。それらの困難にもめげず参入したい！という人にデータ入力は譲り、それ以外の人は最初から自分に合う職種を探す時代かもしれません。

そのため、この第2章ではできるだけ多くの職種を紹介しました。また、その職種で実際に在宅ワークをしている人に話を聞きました。

■地域の力を借り、地域に力を還元する

また、第2章では、できるだけいろいろな地域の在宅ワーカーに登場してもらいました。それは、「地方だから仕事がない」という固定観念を変えてほしいからです。

地方にも仕事はあります。例えば最近では、中小企業や商店街、学校、病院などもウェブサイトを持つ時代です。しかし、それらの企業や組織が、「地元に来てくれる人がいない」「大手の業者に頼めば高品質だろう」などと、わざわざ東京など大都市圏へ仕事を流出させてしまっているケースがあります。実にもったいない話です。

技術を持ち寄ってグループを組み、「地元の仕事は地元で請ける」ことをぜひ目指してほしいと思います。いわゆるウェブ制作者以外に、そのサイトに講演録を載せるならライターやテープ起こしの人活躍し、商業サイトで商品の価格や型番、名称といったものをたくさん載せるならデータ入力者が活躍します。データベースを組むならプログラマー系の人出番かもしれません。

そこで第3章では、地域別に在宅ワーク支援を行っている公的機関やNPOなどを紹介しています。人的ネットワークづくりなどに活用してください。お住まいの地域にめばしい情報がなくても、地域を問わず支援している機関もあります。紹介したNPOなどの活動形態は、自分で交流会などを立ち上げたいときの参考にもなります。

このテキストがお役に立つことを願っています。

目次

はじめに	2
第1章 仕事を獲得しよう	7
人的ネットワーク(人脈)の開発	8
発注者を見つけるには	9
仲間を見つけるには	10
グループワークとは	11
エージェントに登録しよう	12
ビジネスマッチングサイトを利用してみよう	13
セミナー、交流会は積極的に参加しよう	14
在宅ワーク支援拠点を活用しよう	15
メーリングリストやSNSは怖くない	16
ネット検索の達人は強い	17
地域活動、PTA活動、ご近所さんは強い味方	18
コラム 名刺やチラシの一工夫で印象づける	19
グループワークをしてみよう	20
グループワークはメリットがいっぱい	21
グループの形態によるメリットの違い1	22
グループの形態によるメリットの違い2	23
あなたはメンバー向き? リーダー向き? 1	24
あなたはメンバー向き? リーダー向き? 2	25
自分のグループをつくろう1	26
自分のグループをつくろう2	27
グループに参加するときは1	28
グループに参加するときは2	29
グループワークのリーダーに聞く	30
グループワークのメンバーに聞く	31
こんなグループリーダーには気をつけて	32
グループワークQ&A	33
ここでチェック!	34
コラム グループ内でのトラブル	36

第2章 職種&業務別 仕事情報	37
在宅ワークでできる職種	38
私には何が向いている？	39
データ入力系の仕事 基本情報	40
データ入力系の仕事をさらにくわしく	41
データ入力をしている人に聞いてみよう	42
データ入力系の仕事 チェックリスト	43
ライター系の仕事 基本情報	44
ライターの仕事をさらにくわしく	45
ライターの仕事をしている人に聞いてみよう	46
ライターの仕事 チェックリスト	47
テープ起こし系の仕事 基本情報	48
テープ起こしの仕事をさらにくわしく	49
テープ起こしをしている人に聞いてみよう	50
テープ起こしの仕事 チェックリスト	51
ウェブ制作系の仕事 基本情報	52
ウェブ制作系の仕事をさらにくわしく	53
ウェブ制作の仕事をしている人に聞いてみよう	54
ウェブ制作系の仕事 チェックリスト	55
DTP系の仕事 基本情報	56
DTPの仕事をしている人に聞いてみよう	57
システムエンジニア・プログラマーの仕事 基本情報	58
システムエンジニア・プログラマーに聞いてみよう	59
在宅ワーク発注企業アンケート	60
コラム 得意なことはダブル・トリプルに生かそう	64

第1章

仕事を獲得しよう

在宅ワークという言葉からは、自宅で、1人で仕事をするというイメージを受けるかもしれませんが、けれども、在宅ワーカーが仕事を獲得するためには人的ネットワーク（人脈）が必要です。この章では、まず人的ネットワークの作り方について取り上げます。また、強力な人的ネットワークの形態の一つとして、グループワークを紹介します。

人的ネットワーク（人脈）の開発

「在宅ワーク」というと、「1人で仕事をする」というイメージが強いかもしれませんが。しかし、在宅ワーカーとして成功するかどうかは、実は「人的ネットワーク」すなわち人脈にかかっているといっても過言ではないのです。

ここでは、在宅ワークにおける人的ネットワークの重要性について説明します。

●発注者を見つけよう

一番わかりやすいのは、仕事の「発注者」と「受注者」とのネットワークといえるでしょう。どんなにスキルに自信があったとしても、発注してくれる人がいなければ、それは仕事にはなりません。発注者との関係にもいろいろなケースがあり、一度きりの仕事依頼で終わることもあれば、何年にもわたって付き合いが続く場合もあります。信頼できる発注者とのネットワークは、仕事の安定受注にもつながるとも貴重なものといえるでしょう。

●仲間を見つけよう

在宅ワークをしていくうえで、あらゆる場面において支えとなるのが「仲間」です。在宅ワークを始めて間もない頃は、クライアントとのやりとりなどわからないことがたくさんあると思います。そんな時、自分よりも一歩先を行っている仲間（先輩ワーカー）に質問してアドバイスを受けられたとしたら、これほど心強いことはないでしょう。

仲間同士のネットワークが仕事につながる場合もあります。「忙しい知り合いを手伝ったのが初仕事だった」というケースも意外に多いのです。逆に、あなたが忙しくなった時や急病になった時などの緊急事態には、応援を頼むことも可能かもしれません。

また、仲間同士で手分けをして取り組んだり、異業種同士でお互いに足りないスキルを補うなどすれば、1人では受けられない大型案件を受注することも可能となります。仕事をこなす能力を広げるためにも、仲間とのネットワークは大切です。

●無理はせずに、まずは気楽にスタート

「地位の高い人と知り合いにならなければ仕事は軌道に乗らない」「飛び込みなど足で稼ぐ営業活動をしないと仕事は取れない」

もしかして、こんなふうに思い込んでいませんか？

確かに、外に出て多くの人と知り合うのは人脈を作るうえでは大切なことです。しかし、出かける時間を取れない人もいれば、「いきなり初対面の人のなかに飛び込むのはちょっと…」という人もいます。そういう場合は、決して無理をする必要はありません。友人・知人やご近所さんなど、縁あって知り合った人はみんな大切な「人脈」。そこから仕事につながるケースもあるのです。

また、インターネットが普及している現在、ネット上の掲示板やSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を上手に活用すれば、家にいながらにして人脈を作ることも可能です。

発注者を見つけるには

「仕事を発注してもらうにはどうすればいいか？」

これは、まだ経験の浅い在宅ワーカーなら誰もが抱く疑問ではないでしょうか？

仕事を取れる在宅ワーカーになるためには、まずは発注者を見つけること。当たり前のようですが、効率よく発注者を見つけることができれば、そのまま仕事につながる確率が高くなります。そこで、比較的簡単に発注者を見つける方法をいくつかご紹介します。

●インターネットを利用する

発注者を探すには、インターネットを利用するという方法が有効です。例えば、

- SOHOエージェントに登録して仕事を斡旋してもらう。
- 有料のビジネスマッチングサイトを利用して発注者を探す。

などが挙げられますが、もっと手軽な方法のひとつとして、SOHO向けのポータルサイトで仕事情報掲示板を利用するという手段があります。

試しに、Yahoo! JAPANやGoogleなどの検索サイトで、「SOHO仕事」「在宅」などのキーワードで検索してみてください。いくつかのSOHOコミュニティサイトや、SOHOや在宅ワーカー向けの求人サイトが見つかるでしょう(第3章でもいくつか紹介しています)。

これらのサイトには、企業や個人事業者がワーカー募集の書き込みをする仕事情報掲示板があります。情報が毎日更新される掲示板もありますので、マメにチェックすることで自分のスキルに見合った仕事が見つかる可能性が高くなるでしょう。

また、例えば仕事の報酬についてなどの聞きにくいことでも、メールや掲示板の送信フォームから問い合わせができるというメリットがあります、この段階では個人情報すべて公開する必要はなく、顔が見えない分、気楽にやり取りができるため、初めての発注者探しには向いているでしょう。

■「人脈」を利用する

「まったく知らない人から直接仕事を請けるのは不安…」という在宅ワーク初心者の場合、もっと身近なところで発注者を探す方法もあります。ここで重要となってくるのが「人脈」です。在宅ワーカー向けのセミナーなどで知り合ったワーカーが、発注者としてあなたに仕事の依頼をしてくることがあるかもしれません。参加しているメーリングリストやSNS経由で仕事情報を得る場合もあるでしょう。

さらに初心者向きなのが、リーダーやディレクターが複数の在宅ワーカーをまとめながら、ボリュームの大きな案件に取り組む「グループワーク」。仕事はリーダーやディレクターが取ってきてくれますし、クライアントとの間に入り、あなたの仕上げた仕事のチェックもしてくれますから、スキルに自信のない人でも思い切って参加することができるでしょう。

「何が何でも自分で仕事を取らなければ！」という先入観にとらわれず、日頃から人脈を大切にしていれば、身近なところから仕事の依頼がくる場合もあるのです。

仲間を見つけるには

あなたには、仕事上のトラブルや悩みを相談できる人がいますか？ 基本的に、普段は1人で仕事をしている在宅ワーカーですが、仕事の依頼をくれる発注者とともに大切なのが、仕事仲間です。では、仕事をしていくうえで、実質面でも精神面でも貴重な存在となる仲間をどうやって探したらよいのでしょうか？

●参加してみる

仲間を見つけるためには在宅ワーカーが集まる場所に積極的に顔を出しましょう。自治体や在宅ワーカーを支援するグループなどが開催するセミナーや交流会に参加すれば、多くの人と出会うことができます。

少人数の催しなら、参加者が一言ずつ自己紹介する時間が取られることもありますし、最後に名刺交換の時間を設けている場合もあります。そんなときこそチャンスです。同業で自分より経験豊富な人や、同じくらいのレベルで仕事上の悩みを相談し合えそうな人など、「今後お付き合いしたい」と思う人を見つけたら、積極的に話しかけて名刺交換しましょう。そんな小さな一歩から始まり、メール交換などで交流を深めていけば、いずれは同じグループで仕事をするまでに発展する可能性もあるでしょう。

●登録してみる

直接顔を合わせなくても仲間を見つける方法があります。在宅ワーカー支援を行なっている企業や団体のなかには、ホームページ内に、掲示板、メーリングリスト、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）といった利用者（ワーカー）同士が交流できる場を設けているところがあります。（第3章参照）。

掲示板は不特定多数の人が書き込めるものですが、メーリングリストやSNSは登録者のみでコミュニティを形成します。メーリングリストは、特定のアドレスにメールを送るとグループの参加者全員へ配信されるため、複数の人と会話ができるという仕組みです。

一方、SNSは「友達の輪を広げていく」というイメージで、友人の紹介や、管理者への申請・承認を得て参加することが可能になります。例えば、「仕事情報」や職種別のものなど、サイト内に複数のコミュニティがあり、自分の好きなものに参加することができます。

先輩ワーカーや同業者とネットを通して交流することで、相談したり、意見交換したりだけでなく、仕事情報を得ることもできますので、自分に合いそうなサイトを見つけて、まずは登録してみましょう。また、メンバー同士の交流会や勉強会などが開催されるときに積極的に参加すれば、さらに親睦を深めることができるでしょう。

グループワークとは

在宅ワークをしていくうえで不可欠な人脈は、「発注者」と「仲間」です。この2つを同時に得ることができる手段があります。それは、グループワークに参加すること。グループワークとは、文字通り、複数人のグループで協力しながら1つの案件に取り組むスタイルです。

●グループワークの仕組み

リーダーやディレクターが仕事を取ってきて、それを複数のメンバーに振り分け、分業して仕上げるといのがグループワークの特徴です。1人では対応できない大型案件を受けたり、例えば、ライターとウェブデザイナーのように異業種同士のコラボレーションによって請け負う業務の幅を広げたりすることが可能となります。その結果、報酬アップにもつながるため、リーダーやディレクターは、信頼し協力しあえるグループを作るために、ときには未経験のワーカーをいちから育てていく場合もあります。

グループワークの場合、資料の受取りや、納品、価格交渉など発注者とのやりとりはすべてリーダーが行ないます。また、メンバーが仕上げた仕事を納品前にチェックするのもリーダーの仕事です。発注者との間にワンクッションあり、実務以外のことはすべてリーダーが行なってくれるので、経験の浅いワーカーにとってはメリットが大きいといえるでしょう。スキルが少々足りない分はリーダーや他のメンバーに助けをもらいながら、自分のペースで成長していくことができるのがグループワークなのです。

●参加する方法

在宅ワーカーやSOHO向けの仕事情報掲示板には、企業だけでなく、個人が人材募集の書き込みをしていることがあります。大抵の場合、ボリュームの大きな案件を請け負い人手が足りなくなったため、グループワークのためのメンバーを募集するというケースが多いようです。そういう案件に応募するのもよいのですが、相手が個人で、しかも顔が見えないだけに、1、2回程度のメールのやりとりのみですぐに仕事に入るのは不安という人もいるかもしれません。実際、悪徳な業者に引っかかってしまったり、「常識を知らないリーダーと組んでしまい散々な目にあった」といったケースもあります。しかし、経験の浅いうちは、発注者がきちんとした相手かどうかを見極めるのは難しい面もあるでしょう。

そこで、少しでもリスクを減らすためには、メーリングリストやSNSに参加して、そこでメンバーが募集をかける仕事に応募するという方法があります。日頃のメールや書き込みの文面からある程度は相手の雰囲気もわかると思いますので、「この人と仕事をしたい」と思える相手を選ぶことが可能です。また、仕事にわからないことが出てきたり、壁にぶつかっても、コミュニティ内のメンバーに相談しながら進めることができるのも心強いでしょう。

エージェントに登録しよう

営業が苦手だったり、まだ自力で仕事が取れないという場合は、在宅ワーカー向けのエージェントに登録するという方法があります。人材登録会社の在宅ワーク版といったところでしょうか。営業活動は専門のスタッフが行ないますし、報酬もエージェントが発注者から回収しワーカーに支払いますので、自分1人ですべてに対応するよりはリスクを軽減することができるでしょう。

●エージェントから仕事を請け負う仕組み

エージェント企業のサイトから会員登録し、IDとパスワードを取得してから会員専用ページにログインします。そこには会員しか見られない仕事情報が掲載されていますので、そこから応募することができます。また、仕事情報メールが配信されるようになりますので、そちらから応募することも可能です。さらに、経験を積んだワーカーのもとには営業スタッフから直接、仕事の打診が来る場合もあります。

仕事の請け負いが決まったら、案件ごとに「業務委託契約書」を取り交わし、業務内容や報酬・業務期間等を確認してから業務スタートとなります。

●エージェントを利用するメリット

エージェントを利用する一番のメリットは安心感です。仕事を見つけてきてくれるうえ、在宅ワーカーの多くが苦手とする価格交渉や報酬の回収も代わりに行なってくれますし、最初に業務に関する契約書を交わしますので、報酬の未払いや、「途中から業務内容が増えた」「あとから報酬金額を値切られた」などのトラブルもありません。また、エージェントとクライアント（発注者）という「企業対企業」の取引で請けた業務であるため、クライアントから足元をみられることもないでしょう。

●エージェントを利用するデメリット

エージェントは、個人で在宅ワークをするうえで起こりうる心配ごとの多くを代行してくれますが、そのかわりに派遣会社と同じように中間マージンを取ります。「安心と引き換えの経費」とみればよいかもしれませんが、ベテランのワーカーにとってはクライアントから直請けできる方が嬉しいかもしれません。

もうひとつは、未経験者には狭き門である場合が多いということ。エージェントが求めているのは即戦力であって、ワーカーを育てるのが目的ではないからです。企業によってはスキルアップのための講習会などを開催するところもありますが、基本的に、問題が起きたら自分で解決できる自立したワーカーのための仕事受注スタイルといえるでしょう。

経験が浅くても受注率を上げる方法としては、登録時や案件応募の際に申告するプロフィールで「何ができるのか」をアピールすること。「ウェブデザインができます」という場合、例えば、「女性向けのものが得意」など一言添えると印象に残るでしょう。

ビジネスマッチングサイトを利用してみよう

ビジネスマッチングサイトは、その名の通り、仕事を発注したい人と、仕事を請けたい人をマッチングするサイトです。SOHO向け仕事情報掲示板と似ていますが、紹介料等の費用が発生する点が大きな違い。しかし、その分、エージェントが、発注者である企業をしっかりと精査していることが多く、長く付き合える優良なクライアントと出会える確率が高くなります。ここでは、ビジネスマッチングサイトの仕組みやメリットについてご紹介しましょう。

●ビジネスマッチングサイトの仕組み

マッチングの仕組みや料金形態について、「楽天ビジネス」を例に挙げて説明しましょう。

「楽天ビジネスでは、サイト上に自分のページを持ち、提供できるサービス（入力、ライティング、デザイン等）を「出展」するシステムになっています。この際、サービス内容やPR等は発注側に公開されます。発注側は、外注したい業務のカテゴリにリクエスト（一括見積もり依頼）を出します。すると、そのカテゴリに登録している受注者（ワーカー）全員へ連絡が届きますので、請けたいと思った依頼に見積もりを出します。それを見た発注側から商談申込みが来たら、そこからは直接やりとりをするという流れです。

出展時にかかる費用は3ランクに分かれており、個人事業主の場合、一番安いもので、10万7,100円（税込）／年（システム使用料、スタートアップセミナー料金含む）で、商談申込みがあった時点で紹介手数料として1,050円（税込）／回かかります。

この費用をどう感じるかは人によって違うと思いますが、優良の営業ツールとして上手に活用すれば新規顧客獲得に役立つでしょう。

●こんな人に向いている

ビジネスマッチングサイトの利用に向いているのは、

- スキルには自信があるが、営業力に不安がある人
- スタート直後で顧客が少ない人

新人・ベテランに関わらず上記のような状況に合致する人であれば、新規顧客獲得ツールとして有効に活用できるといえるでしょう。なかには、「スタートアップセミナーで一緒になった会社の社長さんに、「ライターです」と自己紹介したら、その場でブログ執筆の仕事を依頼された（ウェブライター/A子さん）」という人もいます。

ビジネスマッチングサイトは、他にもウェブ制作分野に特化したものなど数多く存在します。



セミナー、交流会には積極的に参加しよう

「他の在宅ワーカーと交流したい」

「頼りにできる先輩ワーカーに出会いたい」

「スクールに通う余裕はないけれど、もっとスキルを磨きたい」

そんな人にお勧めなのが、在宅ワーカー支援団体が開催するセミナーや交流会です。在宅ワーク初心者のためのセミナーや、職種別の勉強会などさまざまなものがありますが、参加するとどんなことを体験できるのでしょうか？

●どんなセミナーがあるのか

在宅ワーカーのレベルに合わせてさまざまなセミナーや交流会が開催されています。

「在宅ワークに関心があるけれど、どう始めればいいのかかわからない」という人向きには、先輩を囲んでの座談会。

「始めたのはいいけれど、まだまだスキルに自信がない」という人向けには、パソコンやテープ起こし等の実践的なスキルアップセミナー。

「いずれは起業を考えているので協力し合える優秀な人材と出会いたい」という人向けには、異業種交流会や起業家向けの勉強会。

スキルアップのために数千円の受講料を払って専門の講師の講義を受けるセミナーもありますが、初心者向けのセミナーや座談会・勉強会は無料の場合も多く、なかには託児サービスも無料で利用できるものもあります。時間を作って一度参加してみるとよいでしょう。

●参加する際の留意点

セミナーや交流会に参加するのをためらう理由の多くは、「まだ仕事の経験があまりないのに、自分などが参加してもいいのだろうか？」という不安ではないでしょうか。しかし、そんな心配は無用です。自分に役立ちそうなセミナーや、興味を引かれる交流会を見つけたら積極的に参加しましょう。

ただし、なかには、ネットワークビジネスの会員集めのための怪しいものもありますので、参加する前に、

- どのような団体が主催しているのか
- どんな人たちが集まるものなのか
- 講師はどんな経歴の持ち主か

などをよく調べましょう。心配な場合は、普段参加しているメーリングリストやSNSの主催者・メンバーが開催するものから参加してみるとよいでしょう。

参加する際には名刺を持参して、その後もお付き合いしたいと思った人と名刺交換をしましょう。パソコンで自作したものでもかまいません。参加者だけでなく、主催者やセミナーの講師とも交換しておけば、その後、仕事のご縁につながる可能性も生まれてくるかもしれません。

在宅ワーク支援拠点を活用しよう

在宅ワークやSOHOという言葉が認知されるに従って、在宅ワーカーを支援する団体が増えてきました。無料で利用できるサービスがほとんどですので、スキルアップやワーカー同士の交流の機会を得るために、ぜひ有効に活用したいものです。

●支援拠点を探すには

支援拠点を見つけたい場合は、ネットで検索するのが一番手軽かと思いますが、気をつけたい点は、「在宅ワーカーを支援する」という名目で登録させる在宅商法もあること。信用できる団体かどうかを事前に見分けることが大切です。第3章で実績ある活動を行なっている団体を紹介していますので、ぜひ、参考にしてみてください。

ネットで探すのが不安という場合は、市役所などの自治体や商工会議所、ハローワークに直接問い合わせ、地元で活動している拠点を探してみるのもよいでしょう。

●どんな支援をしてくれるのか

公的な支援拠点で行なわれている取り組みの例としては、

- 相談会を開催し、在宅ワークを始める前や、始めて間もない人の悩みに対応する。
- 座談会や交流会を開いて在宅ワーカー同士の交流を支援する。
- スキルアップのための各種セミナーを開催する。

などが挙げられます。仕事のあっせんは行なっておらず、おもに、在宅ワークを始めるための準備や仕事の見つけ方を学ぶ場を提供することで在宅ワーカーを支援しています。中には、「ホームワーカーズウェブ」(<http://www.homeworkers.jp/>)のように、サイト内に掲示板やSNSを設けてワーカー同士の交流をサポートしたり、相談相手がいない人のために「在宅ワーク相談室」を設けるなど、ネット上からも支援活動を行っている団体もあります。

企業が在宅ワーク支援事業を行なう場合も、セミナーの開催や、SNSやメーリングリストの運営などが挙げられますが、公的な拠点と違う点は仕事のあっせんをしている場合が多いこと。メンバーとして登録した人を対象にサポートを行なっており、社会貢献的な観点からだけでなく、優秀な人材を確保することで仕事の受注につなげたいという目的もあります。

●支援拠点を活用した人脈作り

支援拠点を利用する際のメリットのひとつとして、「人脈作りのきっかけを作ってくれる」ということが挙げられます。普段は1人で仕事を行なうことの多い在宅ワーカーにとっては、例え1回限りのセミナーや交流会への参加であっても、そこでの出会いや縁はとても貴重なものとなるでしょう。

在宅ワークに取り組むという、同じ目的意識を持った仲間を作るきっかけとして、支援拠点を活用してみたいかがでしょうか。

メーリングリストやSNSは怖くない

在宅ワークグループのメンバー同士の交流を深めたり、グループワークを効率よく進める際にも便利なメーリングリストやSNS。しかし、その機能に対する誤解や思い込みから、利用をためらっている人もいます。

ここでは、この2つのサービスの機能やメリットについて簡単に説明しましょう。

●メーリングリストの活用法

メーリングリストは、メールを通してグループ内のメンバー全員で会話をするというイメージです。決まったアドレスへ送信されたメールが自動的にメンバー全員へ配信されるため、このようなことが可能なのです。アドバイスが欲しいときや意見交換したいときに役立つだけでなく、情報共有できることから、グループワーク行なう際にも便利です。

メーリングリストの利用をためらっている人のなかには、「知らない人にメールアドレスを知られるのではないかと心配しているケースもあるようですが、メーリングリストは登録されたメンバー内でのみ、メールのやりとりが行なわれるシステムです。ですから、まったく関係ない人に自分のアドレスが流れる心配はありません。

●SNSの活用法

SNSは、サイト内に自分のページを持ち、そこを基点として友だちの輪を広げていくイメージといえよいでしょうか。サイト内には、「仕事情報」「データ入力者の広場」など特定の目的を持ったコミュニティを作ることができて、好きなコミュニティに登録すれば情報交換ができる仕組みです。また、自分のページからメールのやりとりをすることも可能ですが、この際、メールアドレスは相手に公開されません。

メンバー登録する方法は2つあり、ひとつはすでに登録している「友だち」に紹介してもらうケース。もうひとつは、SNSの管理者に登録申請して承認された場合。いずれにしても、在宅ワークを行なっているか、興味を持っている人がメンバーになると考えられますので、「見ず知らずの人とコミュニティを作るのは不安」という人も試しに参加してみましょう。

■「怖い」という思い込み

掲示板やブログは不特定多数の人が利用できるため、なかには無責任な書き込みをしたり、面白半分攻撃的な書き込みをする人もいますが、メーリングリストやSNSは、「在宅ワーク」という共通のキーワードで結ばれたメンバーで作るコミュニティです。ときには厳しいことを書かれることもあるかもしれませんが、時には、「自分の成長の場」として受け止めることも大切かもしれません。

怖がる必要はありませんので、質問したことに対して答えをくれた人にはきちんとお礼を伝えるなど、マナーだけはしっかり守りながら有効に活用しましょう。

ネット検索の達人は強い

在宅ワーカーにとっては、自分が手掛ける職種のスキル以外にも、重要なスキルがあります。それはネットを使って必要な情報を検索する能力。必要な時に必要な情報を効率よく引き出せるようになれば、在宅ワーカーとしてのステップを一段上がれるといっても過言ではありません。

●情報収集の達人は仕事の達人

ネット検索のスキルを磨くのはそれほど難しいことではありません。必要なのは、とにかく慣れること。練習も兼ねて、普段から気になるキーワードや調べたいことがあったら片っ端から検索してみましょう。コツさえつかめれば、パソコンの前に座っているだけで必要とする情報のほとんどを得ることができるようになります。そうなれば、工作中、急に分からないことが出てきてもあわてずに済みますし、図書館などまで情報を探しに行く手間が省けます。

もし、どうしても必要な情報にたどり着けない場合は、視点を変えてキーワードを探してみましょう。例えば、ライターなどのクリエイター系の仕事情報を探したいときは、「在宅ワーク 求人」よりも、「SOHO 求人」で検索した方がダイレクトに見つかるかと思います。このように、ほんの少しのコツで、検索結果一覧の様子がガラリと変わり、効率よく情報を探せる場合もあるのです。

●情報不足の恐ろしさ

仕事の効率化の他にネット検索の利点として挙げられるのが、リスク回避。例えば、ネットを通じて在宅ワーカー登録しようかどうか迷っている会社があったとします。もし、その会社が在宅ワーカーの間で評判の悪い会社だったとしたら、社名で検索すれば実態についていろいろ書かれたものが見つかります。そうすれば、登録してから後悔するという危険を避けることができるでしょう。

また、在宅ワーカーの悩みどころのひとつとして、仕事の価格設定が挙げられます。発注者から見積もりを依頼されて、頭を抱えてしまう人も多いのではないのでしょうか。そんなとき、ネット検索で相場を調べられたら便利です。例えば、「データ入力 見積もり」というふうに職種を入れて検索すれば、価格表をホームページに掲載している企業がいくつか見つかります。

価格の相場やビジネス上のマナーなどを「知らない」というのは実は恐ろしいことなのです。知らないばかりに、いくら働いても一向に収入が上がらなったり、自分では気付かないうちにクライアントやグループのメンバーに対してマナー違反をして、それっきり縁が切れてしまったり…。

一人前の在宅ワーカーとして自立していくためには、ネット検索を有効に活用して情報を集め、仕事をしていく上でのさまざまなトラブルを回避しましょう。



地域活動、PTA活動、ご近所さんは強い味方

何気なく過ごしている日常生活のなかにも、「発注者」が隠れている可能性あることをご存じですか？ 地域のボランティア活動や子どもの学校のPTA活動、家族やご近所の人との雑談のなかにもチャンスはあるかもしれません。そのチャンスを引き寄せる方法をご紹介します。

●一番身近な営業活動

テープ起こしの在宅ワークを始めたB子さんの例をお話します。B子さんは子育てが一段落したのを機に、在宅ワーク支援団体が行っていたテープ起こし講座を受け、無事に修了しました。しかし、なかなか仕事の機会にめぐまれませんでした。ところが、初仕事は意外なところからやってきました。

B子さんの夫はホテルに勤めており、そのホテルは企業のセミナーなどの会場としてよく利用されていました。ある日、B子さんの夫は、セミナーの主催者から「セミナーの内容を記録してくれる人はいないか」と打診されました。そこで、すぐにB子さんのことを思い出し、彼女にテープ起こしを頼んだのです。

他にも、地域のボランティア活動に参加した際に「ウェブデザイナーを始めた」と口にしたところ、自治会のホームページ製作の依頼を受けたという在宅ワーカーの例もあります。どちらの例も、ポイントとなったのは、日頃から「こういう仕事を始めた」ということを身近な人たちにアピールしていたこと。実は、これも立派な営業活動の一種なのです。クチコミだけでなく、自分でチラシを作って知り合いやご近所に配るという方法もあるでしょう。

■「仕事」の境界線をしっかりさせること

身近なところから仕事を請ける際に気をつけたいことがあります。それは、仕事としての境界線をはっきりさせること。例えば、最初のうちは、「練習になるから」とか、「知り合いの頼みだから」などの理由で、お茶代1回分と引き換えに作業をしてあげたとします。すると、クチコミで仕事が広がっていったとしても、「あの人にはお茶代でやってあげたから、この人にもそうしないと悪い」と、なかなか適正な料金を請求できなくなってしまう可能性があります。

最初に曖昧な姿勢で引き受けて、その状態が続いてしまうと、いつまで経ってもボランティアの域から抜け出せなくなってしまう恐れがあるのです。最初から、自分のスキルをボランティアに活かしたいというなら話は別ですが「仕事」として請け負うなら、例え経験が浅くてもきちんと報酬を受け取るようにしましょう。

ここでチェック!

Let's Check! 

あなたの人的ネットワークは?

34ページをご覧ください。

Coffee Break

名刺やチラシの一工夫で印象づける

名刺は、“もっとも小さい営業ツール”といっても過言ではありません。今は名刺用の用紙を買ってきて自宅のパソコンで簡単に作れますので、いろいろ工夫してみましょう。ただ、あくまでも「仕事用」ですから、趣味に走りすぎると敬遠されてしまう場合もあるので注意が必要です。名刺は、あなたの“顔”となるものですから、個性を出すと同時に、「この人になら仕事を任せても大丈夫」という信頼感を与えるものにしたいですね。

ポイントは、「自分の正体」を明らかにすること。名前と連絡先だけでは、後で相手が見直した時に、「これは誰だったっけ？」ということになります。クリエイター系の職種の場合はさらに、「“テクニカル”ライター」、「“ウェブ”デザイナー」というふうに分野の得意分野や、専門にしていきたい分野を加えて肩書きにすれば、より印象付けることができるでしょう。

より営業効果を求めるなら、「何ができるか」も載せましょう。例えば、「入力作業」だけよりも、「文字入力・データ入力・名簿入力・データベース作成」と書いてあった方が分かりやすく、手にした相手が、「こういう業務が必要になったら頼もう」と心に留めてくれて、後日、仕事につながる可能性が高くなります。ただ、文字数が多過ぎると見づらくなりますので、名刺の裏面を活用してもよいでしょう。

チラシも大事な営業ツールです。これもパソコンで簡単にできますし、情報をたくさん載せられるため、「名刺はシンプルなものにしてチラシでアピールする」というワーカーもいます。

業務内容の詳細の他に、プロフィールとして、名前（屋号）、連絡先（連絡可能時間）、免許・資格、保有しているOA機器・周辺機器（パソコン、プリンター、スキャナー等）、使用ソフトウェア等も載せるとよいでしょう。スキルや業務の幅が広がった際に小まめに作り直せば、簡易版の職歴書の役割も果たします。作ったら、まずは身近な人たちに配り、「こういう仕事をしています」とアピールしましょう。それが営業活動の第一歩になります。

グループワークをしてみよう

1人で孤独に仕事をすると思われがちな在宅ワークですが、実は、何人かで協力しあって取り組むケースの方が多いといってもよいでしょう。このようなスタイルを「グループワーク」といいます。グループワークは、在宅ワーカーが抱えるさまざまな不安要素を解消できる仕事スタイルです。

●グループワーク

友人と2人で協力して仕事をするのもグループワークですが、リーダーが複数のメンバーに仕事を割り振り、グループ内で協力して仕上げるというのが主なスタイルとなります。

リーダーがクライアントとの窓口となり、一括して仕事を請け、メンバーに割り振ります。その際、全員に仕事の仕様や進め方を伝え、最終納品までのスケジュールを管理します。各メンバーから納品された仕事をチェックするのもリーダーの仕事で、完璧な状態でクライアントに納品します。価格交渉や、報酬の受取り、メンバーへの支払いといったお金に関することもリーダーが行ないます。

クライアントにとって一番のメリットとなるのは、仕事を丸投げできること。複数の在宅ワーカーに作業を割り振ったり、進め方を説明する手間が省けますし、報酬の振込みもリーダー1人で済みます。

●ピンチに強いグループワーク

在宅ワークをしていると、自分や家族が急病になってしまい作業に支障が出るなど、思いもかけない事態に見舞われる場合があります。また、大量の仕事の打診をされて対処しきれなかったり、スケジュールの都合でどうしても依頼を断らなければならない場合もあるでしょう。「仕事を断らなければいけない」という事態も“ピンチ”です。その仕事だけでなく、クライアント自体を失ってしまう可能性もあるからです。相手がお得意様だったとしても、何度も仕事を断っていると、「もっと頼みやすい人(断らない人)の方がいい」ということになり、他の人に回されてしまうかもしれません。そして、そのクライアントとはそれっきり…、ということにもなりまねません。



しかし、グループワークなら、こんなピンチに対応することも可能です。複数人で取り組みますので、誰か1人に緊急事態が起きて作業ができなくなっても、他のメンバーがサポートして無事に納品することができるでしょう。また、特にデータ入力などの職種の場合は、1人の場合よりも確実に大量の仕事を請けることが可能になるため、「断る」という事態を避けられます。

このように、グループワークは仕事を確保する上でも強みとなるスタイルなのです。

グループワークはメリットがいっぱい

複数の仲間と協力して仕事にあたるグループワークの主なメリットとしては、「仕事の大量受注が可能になる」「自分や家族の病気などの緊急事態にもフォローし合える」ということがあげられますが、さらに、在宅ワーク初心者からベテランまですべてのレベルごとにそれぞれのメリットがあります。

●ワーカーのレベルに合わせたメリットがある

在宅ワーク初心者が仕事をする場合、1人で請け負うよりも、在宅ワークグループのメンバーとして仕事をする方が安心して取り組めるでしょう。一番のメリットは、クライアントとの窓口など、雑務はすべてリーダーが行なってくれるため、自分は業務だけに集中できるということ。また、実務未経験でも仕事をもらえる可能性が高くなります。というのも、グループのメンバーを募集する場合、必ずしも「経験者限定」ばかりではないからです。グループによっては、「これから信頼できる仲間を育てて生きたい」という趣旨で募集するところもありますので、スキルが未熟でも、リーダーや他のメンバーに補ってもらいながら成長していくことができます。

経験を積み、クライアントから直接仕事を請け負えるようになったワーカーにとっても、グループワークには大きなメリットがあります。自分でグループを作ることによって、ボリュームの大きな案件でも受注できるようになり、クライアントの信頼を勝ち得ることにつながるからです。

●業務拡大にも有効

入力作業などは、メンバーが多いほど、仕事の量も件数もたくさん獲得することが可能になります。一方、業務の幅を広げクオリティを上げることにより、より高額の案件を獲得できるようになるケースもあります。雑誌の紙面やパンフレット制作、ホームページ作成などのクリエイティブ・ワークがそうです。

例えば、デザイナーがパンフレット制作の案件を請けたとします。この場合、ライター、カメラマン、DTPオペレーターとコラボレーションすれば、パンフレットを1冊丸ごと受注できるため、クライアントと交渉して報酬アップにつなげることも可能となるでしょう。このように、異業種のワーカー同士で協力してひとつの作品を作っていくのもグループワークです。

実際、SOHO向けの求人サイトでは、「ウェブページ制作」というふうに、職種ごとでなく全体を一括で発注している企業も見かけます。もし、ライターが「この案件をやりたいけれど、自分は文章しか書けない」といった場合でも、ウェブデザイナーやプログラマーの知り合いがいればグループとして受注することができます。このような大型案件を受注できれば、クライアントと太いパイプができて、その後の仕事につながる可能性も生まれてくるでしょう。

グループの形態によるメリットの違い 1

「グループワーク」にはさまざまな形態があります。案件の種類やワーカーのスキルによって、それぞれふさわしい形態が異なりますので、ここでは代表的なものをいくつか紹介しましょう。

●一方向型グループ

「ぶらさがり型」とも呼ばれるこの形態は、入力業務など大量の作業が発生する場合に多く見られ、リーダーが複数のメンバーを抱え、全体の管理をしながら仕事を進めていきます。

リーダーが仕事を取ってきて、クライアントとの窓口となります。メンバーの顔ぶれを見ながら業務を割り振り、個々のメンバーから上がってきた仕事をチェックしてクライアントへ最終納品します。量が多い場合は、メンバーの中から仕事に慣れている人を選びチェックの役目を任せる場合もあります。

一方向型は、メンバー、リーダーそれぞれにメリットがあります。リーダーにとっては、メンバーを選んだり、育てたりしながら、自分が仕事を進めやすい理想のグループを作っていくことが可能です。メンバーにとっては、初心者のうちには案件の中でも簡単な業務を割り当ててもらい、足りないスキルをリーダーや他のメンバーに補ってもらいながら成長できるというのが一番のメリットといえるでしょう。

●双方向型グループ

このタイプは異業種同士のコラボレーションによく見られる形態で、専門分野を持つワーカー同士が協力して1つの案件にあたります。例を挙げると、

- ・ ホームページ作成＝ディレクター、ウェブデザイナー、プログラマー、ライター、カメラマン
- ・ システム開発＝プロジェクトリーダー、システムエンジニア、プログラマー

このように個々のスキルを集結すれば、上流工程から一括して請け負うことが可能となり、在宅ワーカーでも報酬の高い大型案件を受注できるようになります。普段はそれぞれの仕事をしていて案件があった時だけ集まるというケースが多いのですが、高いパフォーマンスを発揮して固定のクライアントが付けば、グループから会社という形態に発展するケースもあります。

請け負える業務の幅を広げ、お互いを高めあいながら、さまざまな可能性を見出せる点が双方型グループの大きなメリットといえるでしょう。

同業者同士でも双方向型で仕事をするケースがあります。例えば、まだ経験の浅いワーカーが大量の仕事を請け、同じくらいのスキルの仲間に応援を頼む場合などがそうです。みんな同じレベルですから厳密にはリーダーは存在しません。このように、単純に量を分担して業務をこなすために数人の仲間で協力するのも双方向型といえるでしょう。

グループの形態によるメリットの違い 2

在宅ワークグループの形態は、請け負う仕事の種類や規模によって多種多様です。リーダーがメンバーをまとめる「一方向型」や、異業種同士が協力して相乗効果を狙う「双方向型」など、仕事への取り組み方はいろいろありますが、メンバー同士の距離もグループによって異なります。ここでは、距離にとらわれずに仕事をするケース、近場に住むメンバー同士で協力し合うケース、両方の例を紹介します。

■「距離」に左右されないグループワーク

在宅ワークをする最大のメリットは、会社に通うことなく、文字通り「在宅」で仕事ができるということでしょう。複数の仲間と協力するグループワークでも、自宅にいて、メンバー同士で顔を合わせないまま仕事を行なうことが可能です。

仕事の資料や、入力作業のもととなる原稿、テープ起こしのもととなる音源（カセットテープや音声ファイル）などをメールや宅配便で送り、完成した仕事もメールや宅配便で納品する。このようなスタイルを取れば、リーダーやメンバーが離れた場所に住んでいても支障なく協力し合うことができます。

実際、テープ起こしグループのリーダーをしているYさんの例を挙げると、「北海道のクライアントから請けた仕事を九州のメンバーにお願いすることもある。そのメンバーとは一度も会ったことがないけれど、メールや電話でのやりとりを通してとても信頼しており、これまで業務に支障が出たことはない」とのこと。

このように、インターネットや宅配便を上手に利用することで、「距離」を意識しないグループワークの形態が可能となります。

●近場で作るグループの強み

業務の種類によっては、メンバー同士で集まり、交流しながら進めることが必要になる場合もあります。主に、デザイナー、ライターなどの職種が関わるクリエイティブな仕事の場合に多いといえるでしょう。

取材が必要な案件では、カメラマンや取材ライターが現地で顔を合わせますし、編集会議や企画会議が必要な場合は、ディレクター、デザイナー、ライターなどが一同に会した方が進めやすい面もあります。メーリングリストやSNSでも情報共有や意見交換はできますが、実際に頭を寄せ合ってアイデアを出し合った方がよい企画が生まれることが多いからです。プロ同士で切磋琢磨し合って互いを高めあうこともできるため、価値観が同じで仕事をしやすいメンバーが集まった場合は、グループという形態から、クリエイティブ系の制作会社やデザイン会社などの組織へ発展するケースもあります。

また、入力などの事務系の仕事の場合でも、リーダーによっては「緊急事態が起きた時に原稿やファイルを手渡しできる距離を保ちたい」という人がいます。そういう場合は、自宅に近い場所でメンバーを募集することが多いようです。

あなたはメンバー向き？ リーダー向き？ 1

在宅ワークのグループを形成しているのは、リーダーとメンバーです。どちらも、グループ内でそれぞれ大切な役割を担っています。ここでは、リーダーとメンバーの役割や適性について説明しましょう。

●グループのリーダーとは

リーダーになるための条件として大切なのは、「面倒見がよくて、気配りができること」。在宅ワーカーとしてある程度の経験を積んだ人がリーダーになる場合が多いため、「メンバーよりも上の立場」と思われがちですが、それよりもむしろ、メンバーが仕事をしやすいようにフォローする“縁の下の力持ち”といったほうがふさわしいかもしれません。

リーダーの役割は、営業、クライアントとの価格交渉、メンバーへの仕事の割り振り、進捗管理、納品物のチェック、クライアントへの最終納品、報酬の請求とメンバーへの支払いなど、実務以外の全ての雑務におよびます。

また、メンバー全員が仕様書や作業方法を理解しているか確認する、メンバーからの質問に迅速に対応する、足並みが揃うようにスキルの足りないメンバーを教育する、といったフォローも大事な仕事です。実務的なことだけでなく、落ち込んでいたり、自信をなくしているメンバーがいたとしたら、その精神的なケアも必要となるでしょう。

それに加えて、グループの「まとめ役」としての責任も生じます。最終期限に間に合うようクライアントへ仕事を納品するのがリーダーの役目。そのため、メンバーの誰かが急病になるなどの緊急事態が起きた場合は、作業を引き継ぎ、「徹夜をしても納期に間に合わせる」という責任感が必要となります。

苦勞ばかり多いようですが、メンバーを選び、育て、理想のグループを目指すことができるのはリーダーだけです。また、マンパワーを武器に仕事を開拓していけるのも、リーダーだからこそ味わえる醍醐味といってよいでしょう。

●グループのメンバーとは

ひとことで言うと、「経験を積んでからも実務に専念したい人」がメンバーに向いています。システムエンジニアやライターを例に挙げると、現場での経験を積んで仕事に慣れてくると、「プロジェクトリーダーやディレクターとして人をまとめる役目がしたい」という人と、「原稿を書くのが好きだからずっとライターを続けたい」「エンジニアとしてシステム開発の技術を極めていきたい」という人に分かれる傾向にあります。

前者はリーダー向き、後者はメンバー向きといえるでしょう。両方をこなすワーカーもいるため一概にはいえませんが、リーダーになると、クライアントとのやり取りや案件全体の経理業務などの新たな業務が生じるため、実務から遠ざかるケースが多くなりがちです。そのため、「実務にこだわりたい」という人はメンバーのままにいる方が希望通りの働き方ができるでしょう。

あなたはメンバー向き？ リーダー向き？ 2

在宅ワークの実績がゼロだったり、まだ経験が浅い場合は、グループワークのメンバーから始めることをオススメしますが、ある程度実績を積んだ時点で一度考えてみたいのが、「自分はメンバー向きか？リーダー向きか？」ということ。簡単なチェックリストを作りましたので、当てはまる項目にチェックを入れてみましょう。

●リーダーに向くのはこんな人

- 責任感が強い方だと思う
- 自分の主張を人に伝えられる
- 人に教えるのが好き
- 必要な場面で人に注意できる（叱ることができる）
- 金銭管理がしっかりできる
- 仲間の失敗の分も謝ることができる
- 他人の適性を判断できる
- 仕事がやりやすい仕組みを自分で作っていききたい

●メンバーに向くのはこんな人

- 人の言葉に素直に耳を傾けることができる
- 人に合わせるのが得意
- 自分の職種を極めて“職人”に徹したい
- 人に仕事を頼むよりも自分でやってしまいたい
- 自分のスキルアップに注力したい
- 業務フローが整っている状態の方が力を発揮できる
- こつこつ仕上げていくことが楽しい
- 雑務にとらわれずに仕事に専念したい

リーダーとメンバー、どちらの方にチェックがたくさん付きましたか？ これはあくまでも目安ですが、在宅ワーカーとしての今後のキャリアプランを考える際の参考にしてみてください。



自分のグループを作ろう 1

在宅ワーカーとしてある程度の経験を積み、「自分のグループを作りたい」と考えた時、まず必要となるのがメンバー集めです。これは、グループ作りの第一歩にして、リーダーになるための最大の課題といってもよいでしょう。

●メンバーをどうやって集めるか？

手っ取り早いのは、在宅ワーカー向けの仕事情報掲示板で募集することでしょう。しかし、まったく知らない人たちの中から選ぶことになるためリスクを伴う場合もあります。初めて自分のグループを作る時は、できれば身近なところでメンバーを募集する方がよいでしょう。

一緒に仕事をしたことがある人なら理想的ですが、在宅ワーカーのセミナーや交流会で名刺交換したことのある人や、知人の紹介でもよいでしょう。仕事を始めてからはメールや宅配便のやり取りのみで進めることが多くなるため、“人となり”について少しでも情報があつた方が安心度が増すでしょう。

距離が近いという意味の「身近」もあります。普段は全く顔を合わせずに仕事をしていて何も問題がないとしても、「家族が急病で入院した」「パソコンが壊れた」などの緊急事態がいつ起きるかわかりません。そんな時、行き来できる距離にいれば、当日中の引き継ぎも可能になります。もし、掲示板で募集するなどして一度も顔を合わせずに仕事に入る場合は、メールのやり取りだけでなく、せめて一度は電話で話をしましょう。また、いざという時は自分で全部やり直す覚悟で一度、仕事を任せてみるという方法もあります。その際のやり取りを通して、「ハウレンソウ（報告・連絡・相談）」がしっかりできて、常識をわきまえているかどうかを見極めることができるでしょう。

リーダーの中には、「締め切りになっても何の連絡も来ないので電話をしたら、『忙しくてできなかったのでキャンセルする』とその場で言われ、真っ青になった」という経験をした人もいます。信頼して仕事を任せられる人材かどうかを見極めることも、リーダーに必要な資質のひとつです。

●幹部メンバーを人選するコツ

一緒にグループを作っていく幹部メンバーを見つけない場合には、自分との相性を重視しましょう。そして、2人ではなく、3人で始めること。多すぎても収拾がつかなくなります。2人だと1対1で何かと衝突しがち。しかし、3人いれば、1人が間に入ることで収まりがつかます。

また、自分とは全く違う人を選ぶことも大切。違う視点で物事を捉える人がいれば、グループを運営していく上で役立つはずだからです。職種も別の方が、請け負う業務の幅が広がります。もし、同じ職種だとしても、得意分野は異なる方がよいでしょう。

幹部メンバー選びはグループの行く末を左右する重要なものだけに、時間をかけてじっくり慎重に行ないたいものです。

自分のグループを作ろう 2

自分の在宅ワークグループを立ち上げたら、リーダーとして運営していかなければなりません。メンバーと信頼し合い、最高のパフォーマンスを発揮できるグループにするためのポイントをいくつか紹介しましょう。

●お金の管理は1円までしっかりと

金銭感覚が鈍かったり、事務処理がきちんとできないリーダーがいるグループは、あまり長続きしないでしょう。在宅ワークグループは趣味の集まりではありませんので、きちんと利益を出してメンバーに還元できなければ、メンバーはどんどん離れていってしまいます。そうならないためには、独学でよいので経理知識を身に付けることが必要です。

そして、1円までしっかりと管理すること。メンバーに報酬を振り込む際に金額を間違えたりしたら、信用を失いかねません。また、不信感を招かないためには、適正な報酬設定を行ない、その情報をメンバーと共有することも大切。どんぶり勘定はいけません。

管理費についてしっかり考えられるかどうかもグループの存続に関わります。「適正な報酬設定」はリーダー自身にも当てはまります。その際にポイントなるのが必要経費で、例えば、クライアントから1件50円で請けた入力の仕事で、そのまま50円でメンバーに依頼すると、リーダーの手元には何も残りません。グループワークはボランティアではありませんから、これでは長くは続かないでしょう。

リーダーは実際の作業は行なわないとしても、メンバーから上がってくる仕事を全てチェックするなど、手間と責任が発生します。その分を経費として適正に差し引けるかどうかも大事なことです。

●メンバーへのフォローには手を抜かない

グループリーダーの役目のひとつとして、メンバーの教育があります。最初から熟練者ばかり集めてグループを作るなら別ですが、その場合はメンバーが自分の仕事のやり方にこだわり他人の口出しを嫌うなど、コントロールしにくい面もあります。経験の浅いメンバーなら、しっかり教育すれば、自分のグループのやり方についてきてくれるようになり、仕事がスムーズに進むようになるでしょう。

経験の少ないメンバーには簡単な業務から任せて、少しずつ自信を付けていってもらうの基本です。同じ地域の人同士でグループを作っているなら、定期的に勉強会を開くのもよいでしょう。また、熟練度に関わらず、時にはメンバーの精神的なケアが必要になることもあります。仕事に関する悩みや質問を受けたら、できるだけ早く返信しましょう。そういう小さなことの積み重ねがメンバーとの信頼関係を築いていきます。

信頼して仕事を任せられるメンバーが多くいればいるほど、そのグループは安定したパフォーマンスを発揮するといってもよいでしょう。

グループに参加するときは 1

全国にはさまざまな在宅ワークグループがあります。規模や形態が異なるだけでなく、リーダーの志向によってグループの雰囲気や方向性も全く違ってくるため、自分の性格や希望する仕事スタイルにマッチするグループをじっくりに探しましょう。

●参加するグループの探し方

初めてグループに参加する場合は、まず参加資格を確認して、できれば同じ地域など近場で募集しているグループに応募する方がよいでしょう。可能ならば、グループに登録する前に一度はリーダーと会っておいた方がよいからです。というのは、グループの雰囲気はリーダーの性格による部分が大きいからです。メールでのやり取りから人柄を推測することも可能ですが、やはり、直接会って言葉を交わした方がわかりやすいでしょう。

近場で活動しているグループなら、交流会や勉強会を通してリーダーと顔を合わせる機会が生まれます。この時に、「この人と一緒に仕事がしたい」と感じたら、その人のグループでうまくやっていけるでしょう。

グループと温度差がある場合はせっかく登録しても続かない確率が高くなります。「温度差」というのは、仕事に対する考え方や取り組み方の違いです。例えば、在宅ワーク・デビューしたばかりで、少しずつ経験を積んでいきたいという人が、いわゆる“儲け主義”でメンバーのスキルも考えずに大量の仕事を押しつけるようなグループに登録してしまったらどうでしょうか。逆に、バリバリ稼ぎたいのに、メンバーの人数に対して受注する仕事の量が絶対的に少ないグループに登録しても、あまりメリットはないでしょう。

●ファースト・コンタクトが大切

「在宅ワークのセミナーに参加したら、講師をしていた在宅グループのリーダーにスカウトされて、メンバー登録した」というウェブデザイナーのCさんのような例は別ですが、大抵の場合、グループとの最初のコンタクトはメールではないでしょうか。特に、地方在住で遠くに拠点のあるグループに登録する場合は、メールが唯一の連絡手段であるケースが多いかと思います。ですから、最初に送る応募メールが面接の代わりになるといっても過言ではありません。「メールの文面からその人のことが8割くらいはわかる」というリーダーもいるくらいです。

応募メールで気を付けたい点は、顔文字などは使わずビジネス文書に徹すること。メールを送った目的を告げてから、簡単に自己紹介をする。その際、在宅ワークの実績を必ず記載する。もし、まだ実績がない場合は、これまでにどんな勉強をして、どんな業務だったらできるのかを明確にする。保有しているOA機器や使用しているソフトウェア名も記載する。

最低でもこれくらいのことは相手に伝えましょう。また、どうしてもそのグループに入りたい場合は、なぜ入りたいのか、ということをしっかりアピールするとよいでしょう。

グループに参加するときは 2

自分にマッチする在宅ワークグループを見つけて登録したら、次はいよいよ仕事です。グループで仕事をする際には、メンバーの一員として守らなければならないことがあります。ここでは、仕事をしていく上で気をつけるべき点やマナーについて触れます。

■「ハウレンソウ」を厳守する

グループワークで周囲に一番迷惑をかけるのは、「何の連絡もなく納期を遅らせる」ことです。プロとして仕事を請けるからには納期は絶対厳守。ただし、自分や家族の急病や、パソコンの不調・故障といった予期せぬ事態が起きて、どうしても納期を守れない場合は、すぐにリーダーに連絡してください。仕事をしている最中に壁にぶつかったり、分からないことが出てきた際も、抱え込んで納期を遅らせることなどないよう、すぐにリーダーに相談しましょう。

「できると思ったけど、やっぱり自分には無理だった」「始めてみたら量が多くて終わらなかった」、こんな言い訳をする初心者ワーカーがいます。このようなことでリーダーに迷惑をかけないためには、自分の能力をしっかり把握することが大切。会社ではありませんから、仕事を請けるかどうかの判断は全てメンバーに任されています。当たり前ですが、自分の責任で請けた仕事は最後までしっかりまっとうする。どうしても無理だと分かったら、すぐにリーダーに相談する。

「ハウレンソウ（報告・連絡・相談）」は、仕事をする上での常識であり、グループワークで孤独にならないためにも不可欠なものです。

●パソコン上でのマナー

グループワークでの主な通信手段はインターネットになります。パソコンとインターネットなくしては在宅ワークは成り立たないといってもよいでしょう。だからこそ、日頃から気をつけたいのがセキュリティ対策。個人情報保護法が施行されたこともあり、在宅ワーカーにもより高い意識が求められるようになりました。今やネットユーザにとっては今や常識ですが、ウィルス対策には万全を期しましょう。

グループに登録すると、グループ専用のメーリングリストやSNSに参加することがあります。これらのコミュニケーションツールを利用する際にも最低限守るべきマナーがあります。メーリングリストや、SNSの掲示板に質問や相談を書き込んだ際、他のメンバーが答えてくれたら、そのままにせずきちんとお礼の書き込みをしましょう。また、質問をする時は、以前にも同じような質問が掲載されていないかを確認してからにしましょう。

1通のメール、1件の書き込みが他のメンバーに自分を印象付けることになるため、ネットのマナーはきちんと守り、コミュニケーションを円滑にするよう心がけましょう。

グループワークのリーダーに聞く

自分の理想の在宅ワークグループを目指して、クライアントとメンバーの間に立ち、日々、奮闘しているグループリーダー。その苦勞や仕事のやりがいについて、現役のリーダーに話を聞きました。

●リーダーだからといって儲かるわけではない（ディレクター／Aさん）

「リーダーは作業もしないで手数料をもらえるから、メンバーより儲かるでしょう」と言われることがありますが、決してそんなことはありません。

私は、ある情報サイトのコンテンツのライティングを請け負っていますが、1人では対応できない量のため、数人のライターに分担して原稿を書いてもらい、自分はディレクションに徹しています。ライティングはしませんが、メンバーの書いた原稿を全てチェックし、文字も細かく校正してからクライアントへ納品するという作業が発生します。「何もしないで」報酬を受け取っているわけではありません。

時には赤字になることさえあります。単価が安くて申し訳ないと思い、クライアントから提示された金額をそのままメンバーに回したとします。そうすると、原稿チェックなどの作業はすべてタダで行なうことになってしまうからです。

さらに、万が一クライアントが倒産して作業報酬を回収できなくなってしまった場合は、自腹を切ってもメンバーに支払わなければなりません。リーダーはよほど金銭感覚がしっかりしていないと、なかなか儲けを出せないのです。

●困ったメンバー 嬉しいメンバー（入力グループリーダー／Bさん）

私は長年、入力グループのリーダーをしており、たくさんのメンバーと接してきました。その中で、「これは困った！」と印象に残っているのがベテラン入力者のDさん。

ある時、複雑な仕様のデータ作成をお願いしました。メールで説明しただけでは理解できているかどうか不安だったため、「確認のため何件かできたら一度送ってください」とお願いしました。これはメンバーには時々お願いすることですが、Dさんは気を悪くされたのか何度お願いしても指示通りにしてくれませんでした。

そして、締め切り当日にまとめて送られてきたデータを見ると、全く違う仕様で作成されていたのです…。時間がなかったため、私自身が徹夜で入力し直し、納品しました。

Dさんは貴重な戦力でしたが、それ以降はお願いするのは控えました。グループワークのメンバーとして理想的なのは、熟練度よりも協調性だということを実感した経験でした。

逆に、よい意味で印象に残っているのが、全くの未経験から在宅ワークを始めたEさん。最初はパソコンのいろはも知らない状態でしたが、子育てで忙しい最中に努力して勉強し、グループが主催する勉強会にも時間を作って必ず参加していました。何年かすると、とても頼りになるメンバーに成長。さらに、自分のグループを立ち上げるまでになりました。今では、繁忙期にはお互いのグループ同士で協力し合う、よいパートナーとなりました。

グループワークのメンバーに聞く

在宅ワーカーとして成長できるかどうかは、自分の努力も大切ですが、よい人脈に恵まれ、ステップアップできる環境を手に入れられるかどうかにもかかっています。自分にぴったりマッチするグループにめぐり合い、夢だった仕事を始めることができたFさんに、これまでの歩みを尋ねました。

～未経験からライターになったFさんの話～

子育てがひと段落し、「何か仕事を始めたい」と思った時、どうせやるなら、昔から憧れていたライターを目指そうと考えました。出版社などに勤めるほどの時間の余裕はなく、在宅でできるライターの仕事がないかネットで探しました。しかし、経験者の募集ばかり。

「やっぱり未経験では無理か…」とあきらめかけた時、メンバーを募集している在宅ワークグループを見つけました。「全国の観光スポットのデータを基に、短い紹介文を作成する。初心者でもOK」という仕事に応募したところ、採用となり、グループメンバーとして登録することに。リーダーがライター経験者ということで、丁寧に仕事を教えてもらえた上、ライターの仕事についていろいろ聞くことができました。

「グループワークというのは入力分野での話」と勘違いしていたのですが、そのグループは出版社やウェブ制作会社からの依頼が多く、メンバーにもライティングの仕事がコンスタントにありました。

初仕事のあと、「飲食店に電話をして店舗データを確認する仕事をしてみないか」と声をかけてもらいました。ほんの30秒程度で済むとはいえ、「電話取材」は気後れしましたが、何事も経験と思い引き受けました。

少しすると、今度は情報誌の原稿執筆の話ももらいました。同じグループの先輩がディレクターとして取材を行なうので、私は同行して、ディレクターがインタビューする話を基に原稿を書けばいいのです。「取材の現場も見られるし、これはよい経験になる！」と思いつた返事で引き受けました。

初めての取材同行では、名刺交換の仕方からインタビューの進め方まで全てが勉強になりました。定期的な仕事なので、その後もいろいろな会社に取材に行っています。最近はインタビューも自分でできるようになりました。このまま経験を積んで、いずれは独り立ちできれば、と思っています。



私が幸運だったのは、ライターとして育ててくれるグループに出会えたこと。もし、自分1人で始めていたとしたら、運よく最初の仕事を獲得できたとしても、何も勝手が分からず大失敗していたと思います。自信をなくしてライターになることもあきらめていたかもしれません。今は、他のメンバーにフォローしてもらいながら、少しずつ確実にステップアップしていることを実感しています。

こんなグループリーダーには気をつけて

グループの性質は、リーダーの性格や人柄によって決まるといっても過言ではありません。自分に合うグループかどうかを見極めたい時は、リーダーを見ればある程度は分かるでしょう。中にはあまり良心的でなかったり、勘違いしていたりするリーダーもいます。そういうリーダーのグループに入ってしまうと、「苦勞ばかりで得るものが少ない…」ということになりかねません。信頼できるリーダーを選ぶ眼力を持つことも在宅ワーカーには必要です。

●勘違いしているリーダー

リーダーはグループの「まとめ係」であって、メンバーよりも「偉い存在」というわけではありません。むしろ、リーダーに求められるのは、メンバーが仕事をしやすいように雑務をこなし、必要なら実務的にも精神的にもフォローする気配りができること。ところが、「自分がメンバーに報酬を払って仕事をさせてやっている」と勘違いしているリーダーが時々います。

報酬を払っているのはクライアントであって、リーダーではありません。確かに、そのクライアントを見つけてきたのはリーダーですが、自分1人では請けられない案件だからこそ、メンバーに割り振ってグループワークをしているのです。そのことを自覚していないリーダーは、「雇い主」であるかのようにメンバーに接する場合があります。そのため、「フォローし合いながら一緒に成長できるグループで仕事がしたい」という人にはあまり向かないでしょう。

●安すぎる報酬を提示するリーダー

しっかりとした金銭感覚を持って、メンバーにも自分にも適正な報酬が行き渡るよう調整するのもリーダーの役目です。ところが、常識外れな額を「経費」として差し引くリーダーがいます。

Aという在宅ワークグループが、Bという別のグループに仕事を委託しました。すると、Bグループのリーダーは、Aグループから1,000円で請け負った仕事を20円でメンバーに依頼したのです。Aグループのリーダーが、たまたまネット上の掲示板でBグループのメンバー募集の書き込みを見つけたため発覚しました。あまりにも安い価格だったため、Bグループのリーダーに理由を尋ねたところ、「管理費がかかるから」とのこと。請け負い金額から98%も差し引かなければならない管理費とは、一体どんなものなのでしょうか…。

このリーダーが、自分だけ利益を上げるためにこのような価格設定をしたのか、それとも単に常識がなかっただけだったのかは分かりません。

一方、価格交渉ができないリーダーは、適正価格を提示することもできず、クライアントのいうままに格安の金額で仕事を請け負ってしまう場合があります。ボランティアで業務を行なうなら別ですが、どんなに面倒見がよくてやさしくても、金銭感覚がしっかりしていないリーダーがいるグループは避けた方がよいでしょう。

ここでチェック!

Let's Check! 

あなたに合ったグループワークは?

35ページをご覧ください。

グループワークQ&A

ここでは、「グループワーク」に関して寄せられる疑問の中から、代表的なものをいくつかご紹介します。

Q1. なぜ「在宅ワーク」なのにグループで仕事をするの？

A. 「在宅ワーク」とは、文字通り在宅で行なう仕事のスタイルを指しているため、「1人で仕事をする」とは限りません。1人だと、大量の業務を請けた時に対応できなくなったり、急病などの緊急事態にも対応しきれないでしょう。その点、グループワークなら、他のワーカーと協力することで在宅ワークのウィークポイントを克服することが可能になります。

Q2. グループはどうやって見つけたらいいの？

A. インターネットで在宅ワーク支援拠点やSOHOグループを探してみましょう（第3章参照）。グループ主催の交流会やセミナーがあったら積極的に参加して、リーダーに直接会ってみればグループの雰囲気分かるでしょう。

Q3. メンバーになるにはどうしたらいいの？

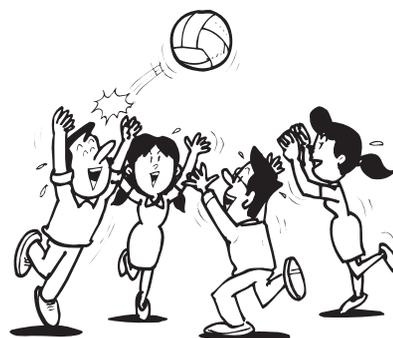
A. グループがメンバーを募集するときは、グループのホームページ上、あるいはネット上の掲示板やSNSなどに情報を掲載します。応募条件（例えば「〇〇県近郊在住者」など）を確認し、疑問点があったら事前に質問してから応募しましょう。

Q4. 経験者でないとメンバー登録できないの？

A. そんなことはありません。グループワークには「未経験者OK」というところも含め、さまざまな形態があります。勉強会などを開いて在宅ワーク初心者育てていこうというスタイルのグループもありますので、自分に合うグループをじっくり探してみましょう。

Q5. グループのメンバーになったら必ず仕事があるの？

A. グループワークは個人事業主が案件に合わせて集まり、協力し合うという仕事スタイルです。グループは会社ではありませんし、リーダーも雇用主ではないため、安定した仕事を約束するものではありません。ただ、人数を集めてボリュームの大きな案件に対応したり、異業種同士でコラボレーションしたりすることにより、仕事の幅を広げていくことが可能のため、固定のクライアントを獲得しやすくなるでしょう。



ここでチェック!

Let's Check! あなたの人的ネットワーク

人的ネットワークを作る大切さはわかっていただけたと思います。自分に合ったやり方で発注者や仲間などを見つけていくために、ここでチェックしてみましょう。

1) 人的ネットワークを作る方法はいろいろあります。ここまですら読んで、どんな人的ネットワークづくりが自分に合っていると思えましたか？

- グループワークをしてみたいと思った
- エージェントに登録してみたいと思った
- ビジネスマッチングサイトを利用してみたいと思った
- セミナーや交流会に出てみたいと思った
- 在宅ワーク支援拠点を活用してみたいと思った
- メーリングリストやSNSに入ってみたいと思った
- ネット検索で探してみたいと思った
- 地域活動や近所づきあいなどを生かしたいと思った

「全部にチェックマークをつけたけど欲張りすぎ？」
いいえ、かまいません。そういう積極性も大事です。

2) チェックした項目について、具体的に探してみましょう
(例：地元で開催されているセミナーや交流会を探してみる)。
この本の第3章も参考になります。

■Home Workers Webのおすすめコンテンツ◇

・ビデオストーリーミング → <http://www.homeworkers.jp/>

実際の在宅ワークセミナーや座談会の一部を、映像で見ることができます。

[ウェブページの開き方] Home Workers Webのトップページより自動で移動します

・あなたの在宅ワークを探そう! → <http://www.homeworkers.jp/jirei/senpai.html#m>

在宅ワーカーを目指す人に「仕事経験ゼロ」「第2の人生のスタート」などタイプ別にアドバイス。先輩たちがどんな出合いやきっかけから在宅ワークを軌道に乗せたか、事例も多数紹介しています。

[ウェブページの開き方] Home Workers Webのトップページより

「はじめての方はこちら」→「あなたの在宅ワークを探そう!」

ここでチェック!

Let's Check! あなたに合ったグループワーク

グループワークにはいろいろな形態があることを理解していただけたと思います。どんなグループワークが自分に合うと思いましたが？ ここでチェックしてみましょう。

1) 25ページのチェックリスト「あなたはリーダー向き？ メンバー向き？」の結果はどうでしたか？

- リーダー向きだった
 メンバー向きだった

2) グループを組む(またはグループに入る)としたら、どんな形態のグループを希望しますか？

- 一方向型グループ ↔ 双方向型グループ
 (22ページ参照)
 同業種のグループ ↔ 異業種でコラボレーションするグループ
 (22ページ参照)
 距離を問わないグループ ↔ 近場で作るグループ
 (23ページ参照)

3) グループを組む(またはグループに入る)ために、どんな方法を使いたいと思いましたが？

- ビジスマッチングサイトを活用してみたいと思った
 (ビジスマッチングサイトは、仕事受注だけでなく自分が発注することもできる)
 セミナーや交流会を活用してみたいと思った
 在宅ワーク支援拠点を活用してみたいと思った
 メーリングリストやSNSを活用してみたいと思った
 ネット検索で探してみたいと思った
 地域活動や近所づきあいなどを生かしたいと思った

■Home Workers Webのおすすめコンテンツ◇

・掲示板「みんなの広場」 → <http://www.homeworkers.jp/hiroba.html>

在宅ワーカーや在宅ワークを始めたい向けの、インターネット上の掲示板です。ユーザー登録などは必要なく閲覧や投稿ができます。

[ウェブページの開き方] Home Workers Webのトップページより

「みんなの広場」→「掲示板みんなの広場」

Coffee Break

グループ内でのトラブル

複数のワーカーが協力して仕事を進めるグループワーク。さまざまな人が集まるだけに、時には予期せぬトラブルが起きることもあります。ここでは、実際に起こったトラブルを紹介しましょう。

事例1 「仕事来ない」といわれても…

(入力グループリーダー／Hさんのケース)

Hさんは、グループメンバーのOさんから、「最近仕事来ない。収入がなくて困るから仕事を回してよ!」というクレームを受けて困っています。

このケースで問題なのは、Oさんがグループワークの本質を理解していないことでしょう。リーダーのHさんにも問題がないわけではありません。Oさんがメンバーとして登録する際に、「手が足りない際をお願いするので、安定した雇用を約束するようなものではない」ということをしっかり説明していれば、こんなクレームを受けずに済んだかもしれません。

事例2 待てど暮らせど報酬が…

(ウェブデザイナー／Iさんのケース)

Iさんは、ある企業のホームページのデザインを行ないました。ところが、納品して半年以上経ちホームページがアップされても報酬が振り込まれません。リーダーに問い合わせたところ、「クライアントから振り込まれないので支払えない」とのこと。先方に交渉しているような雰囲気もなく、Iさんは途方に暮れてしまいました。

このケースでは、両方に問題があります。リーダーは、黙って先方から振り込まれるのを待っているだけでは役割を果たしているとはいえません。例え訴訟を起こしてでも作業報酬を回収するくらいの責任感が求められます。一方のIさんは、最初にリーダーと業務委託契約書を取り交わし、納品～請求書発行～振り込みのサイクルを確認しておくべきでした。



第2章

職種&業務別 仕事情報

「在宅ワーク」というのは、職種の名前ではなく働き方の形態の一つです。では、在宅ワークという就労形態で具体的にどんな職種（あるいはどんな業務）が可能なのでしょうか。その中で、あなたに向いているのは何でしょうか。この章では、在宅ワークでのさまざまな職種を具体的に解説します。

在宅ワークでできる職種

在宅でできる仕事は多種多様です。

パソコンやインターネットを使うことで発注者との打ち合わせ～納品まで完結できる仕事のほか、自宅を拠点としながら外に出ることも多い仕事もあります。

ここでは、代表的な在宅ワークの職種をご紹介します。

◇データ入力系の仕事

データ入力／アンケート集計／OCR校正／集計／文書作成 など

◇ライター系の仕事

ライター／コピーライター／編集 など

◇テブ起こしの仕事

◇ウェブ制作系の仕事

ウェブデザイナー／HTML・CSSコーダー／イラストレーター など

◇DTP系の仕事

DTPデザイナー／DTPオペレーター・トレース など

◇システムエンジニア・プログラマー系の仕事

システムエンジニア／プログラマー など

その他、翻訳や経理、設計などさまざまな職種が、実際に在宅ワークとして行われています。むしろ、たいていの仕事は工夫すれば自宅を拠点に行えるとも言えるかもしれません。柔軟な発想で探してみましよう。

私には何が向いている？

実際に仕事を始めるにあたって、自分にはどんな仕事に向いているのかを確かめましょう。

在宅ワークでは、管理や指導をする人がそばにいない環境で仕事をするので、会社で仕事をする時よりも「自分で勉強する」「自分で管理する」ことが必要になります。

向いている仕事・好きな仕事ならば、独学するための向上心が生まれやすく、自己管理もしやすくなります。

次ページからは代表的な在宅ワークについて具体的に解説しています。職種別の情報を見ながら、自分に向いている仕事を探してみてください。

◇基本情報

どの職種も、仕事内容や報酬についての基本を解説しています。職種による違いを比較して自分の希望と照らし合わせてみてください。

希望者が特に多い「データ入力」「ライター」「テープ起こし」「ウェブ制作」については、さらに詳しく解説したページがあります。

興味を持った職種のページを読んでみてください。

◇〜の仕事をしている人に聞いてみよう

すべての職種について、その仕事をしている人にインタビューしています。

関東近辺だけではなく、九州、関西、東北など、いろいろな地域の人にお話を伺っています。

在宅ワークは工夫をすれば地方でも十分できるということ、年齢や性別に合ったやり方があることがわかりいただけだと思います。

また、人それぞれに人的ネットワークづくりに努力していること、意欲を持って勉強していることなどにも注目してください。

自宅を拠点にスタートしても、インキュベーション施設（起業家支援のための賃貸スペース）を活用したり、やがて法人化したりしている人もいます。

自分が将来どうなりたいかという展望を持つ上での参考になるでしょう。

◇チェック！ この仕事はあなたに合いそうですか？

自分に合った在宅ワークを選ぶヒントとして、その仕事に合っているかどうかの「チェックリスト」を掲載していますので参考にしてください。

◇Home Workers Webのおすすめコンテンツ

いくつかの職種についてはホームワーカーズウェブの記事を紹介していますので、ウェブサイトに掲載されている情報もぜひチェックしてください。

データ入力系の仕事 基本情報

■どんな場所で発生する仕事？ 誰が発注者？

あらゆる企業で発生する仕事です。発注者は企業、SOHOエージェントなどです。

規模の大きい案件の場合、データ入力代行会社がグループや個人に振り分けて発注している場合もあります。

■どんな仕事内容？

申込書やアンケートなどに書かれた手書きの文字をパソコンに入力する仕事です。入力に限らず、データの集計やグラフ化までを行うこともあります。

「入力」という部分に関しては、とにかくキーボードを正確に打つことが仕事です。また、一般に「データ入力」と言われる仕事には、文書作成やOCR校正なども含まれます。「キーボードを打つのが好き」「パソコンの前に長時間座っているのが苦にならない」という人に向いている仕事です。

■「参入するには」「一人前と言えるには」どの程度できればいい？

データ入力会社やSOHOエージェントに登録することで参入できます。データ入力のグループメンバーになって、メーリングリストなどの仕事募集に応募する方法もあります。

長い文書や長期的な案件になると、何十ページにも及ぶ仕様書を渡されることもありますので、それを理解して作業できるようになれば一人前と言えるでしょう。

◇使用するアプリケーション/ソフト

Microsoft Word / Excel

■報酬の相場はどのくらい？

単価は、1文字いくら、あるいは名刺1件いくらなどの形で支払われます。発注者や入力の内容によって単価にかなりのばらつきがあります。

経費を差し引いた金額ができるだけ最低賃金に相当する程度以上になるよう、受注しましょう。極端に安すぎる仕事には手を出さないのが無難です。

■初心者ほどの程度指導してもらえる？

グループに所属して仕事をスタートした場合、仕様書の解釈などは質問すればグループリーダーに教えてもらえます。その場合も、まず自分で調べる努力をするという態度、作業効率を上げる方法をベテランの方に聞きたいという前向きな姿勢が必要です。

◆データ入力系の仕事をさらにくわしく

データ入力は、テープ起こしと並んで在宅ワークの筆頭に挙げられる仕事です。資格や特別な職務経験は必要ないので初心者でも参入しやすく、自宅でスキルアップをすることもできます。

1文字1文字丁寧にチェックする根気強さも必要です。データ入力者が受注する仕事は文字の入力だけではなく、文書作成(レイアウトして入力する仕事)や集計・グラフ化などもあります。プラスアルファの作業をできるようになることが、収入アップにつながります。

■具体的にはどんなものを入力するのか？

申込書や懸賞ハガキなどに書かれた住所・氏名・年齢などをエクセルの表に入力していくものが代表的です。アンケートの回答内容などを入力する仕事もあります。手書きで書かれた文字は読みにくい場合があるので、慎重に判別します。

■データ入力の仲間「OCR校正」「文書作成」とは

データ入力で発生する仕事に、「OCR校正」「文書作成」があります。

名刺の社名や肩書き、氏名などの文字を機械で読み取ってデジタル化する際に、社名を氏名として取り込んでしまうなどの読み取り間違いが発生します。原本の名刺などと照らし合わせて、この間違いを見つけるのが「OCR校正」です。

Microsoft WordやPowerPointのビジネス文書を作成するのが「文書作成」です。これらは企業内で作成することもできるのですが、企業で一般的に作成されるより高いスキルがあれば受注できます。

■収入アップにつなげるために

パソコンスキルやコミュニケーション能力は他の職種に比べてそれほど必要ではありませんが、「速く間違いなく打つこと」が必要です。速く打てるようになればたくさん量をこなすことができるようになり、収入もアップしていきます。

経験10年以上のベテランになっても訓練を続けているという人もいますから、初心者はとにかく入力の訓練を繰り返しましょう。

また、イベント会場で配布、回収されるアンケート用紙などを入力する場合、入力だけでなく、そのアンケートの集計やデータの集計やグラフ化などもできれば、さらに報酬がアップします。発注する側にとっても、同じ人に入力からグラフ化まで一括で頼むことができれば楽なのです。



データ入力をしている人に聞いてみよう

東京都 山村さん(仮名)30代 女性

仕事内容：入力、集計、Wordレイアウト、パソコンインストラクター

経歴：1996年に美容室を退社。結婚を経て2000年に在宅で仕事を開始。

2004年、Microsoft official trainerの資格を取得しPCインストラクターとしてもスタート。

家を新築した際にパソコンに初めて触れ、入力練習をしていました。「データ入力」という仕事があることを教えてくれたのは主人です。美容室への再就職も考えたのですが、年齢的な問題から別の仕事をしたいと考えていたときでした。

インターネットで情報を収集し、通信講座(入力業務、Wordレイアウト)を受講後、仕事を紹介してくれるNPOに登録しました。

最初はなかなか仕事が見つかりませんでした。自分は何ができるのか、何が得意なのかを明確にし、クライアントや過去お仕事をさせていただいた方にアピールしました。また、同業者の仲間をつくることで、人手が足りないときに声をかけてもらえるようになりました。

現在、子供が小さいので外出するのもなかなか難しいのですが、セミナーなどに参加したり、さらにスキルアップしたりして仕事の幅を広げたいと思っています。

福岡県 田辺さん(仮名)40代 女性

仕事内容：入力、アンケート集計、テープ起こし

経歴：長女出産後の1996年、在宅で入力業務を開始。現在も在宅で入力などの仕事を請け負う。

子どもが病気のとくに頼れる人がいなかったため、在宅での仕事をしようと思いました。当時はパソコンが普及していなかったため、ワープロ教室に通うところから始めました。電話帳を見ながら印刷会社に電話をして、手書き原稿の入力などの仕事を頂きました。その後、近所のデータ入力グループに入れてもらったり、メーリングリストに参加したりして仕事受注につなげました。

徹底した見直しをして、早く正確に入力したものを納品することを心がけたことで軌道に乗せることができました。メーリングリストで応募した会社から直接リピートをいただくこともあります。

データ入力は、資格は特に必要ないのですが、操作などのわからないところは勉強し、ミスがないものを早めに納品、仕事が重なった時には無理に引き受けず、納期を相談するなどすると続けられると思います。今後も、家庭と仕事を両立して在宅の仕事を続けていきたいと思っています。

データ入力系の仕事 チェックリスト

■チェック！ この仕事はあなたに合いそうですか？

1) 長時間パソコンの前に座っていることが苦になりませんか？

→長時間にわたって文字を入力し続ける仕事です。長時間座っていると体が辛い場合は、クッションを使用して負担を軽減したり、休憩を入れて体を動かしたりする工夫をしましょう。

2) タッチタイピングができますか？

→速さと正確さが勝負のデータ入力では、タッチタイピングは必須です。できない人は、繰り返し練習をしましょう。

3) 単調な作業が苦になりませんか？

→地道にコツコツと入力をする仕事です。単調でも腰を据えて取り組み、達成感を感じられる人に向いています。

4) Microsoft WordやExcel、PowerPointを使いこなしたいと思いませんか？

→これらのソフトを使いこなせると、データ入力プラスアルファの仕事を行うことができます。現在使いこなせていなくても、自分で勉強することでステップアップできます。

■Home Workers Webのおすすめコンテンツ◇

・先輩在宅ワーカーに聞く！（データ入力）

様々な分野で活躍する先輩に必要なスキルなどのお話を伺っています。

データ入力は山口智子さんが、仕事内容や勉強方法や必要なスキルなどについて答えています。

<http://www.homeworkers.jp/sohonikiku/data.html>

[ウェブページの開き方]

Home Workers Webのトップページより「インタビュー情報」→「先輩在宅ワーカーに聞く！」

・発注企業インタビュー

在宅ワークを発注している企業からお話を伺っています。

<http://www.homeworkers.jp/hattyuu/>

[ウェブページの開き方]

Home Workers Webのトップページより「インタビュー情報」→「発注企業に聞く！」

ライター系の仕事 基本情報

■どんな場所で発生する仕事？ 誰が発注者？

出版社や編集プロダクションなどで発生します。SOHOエージェントから発注される場合もあります。

■どんな仕事内容？

雑誌や書籍などの出版物やウェブサイトなどに掲載する文章を書きます。取材や写真撮影なども行います。

■「参入するには」「一人前と言えるには」どの程度できればいい？

ライターの仕事には、「これができるればOK」「これがあれば一人前」というような明確な技術や資格はありません。

出版社や編集プロダクションでの実務経験があれば、実績を提示して売り込むことで参入できます。編集者の知人など、勤めていた会社の人的ネットワークを通して受注できる場合もあります。

初心者でも執筆可能な案件があれば、「一緒にやっていく」というスタンスで仕事を発注する会社もあります。また、ライターを養成する講座で基礎を学び、そのつながりから仕事を得られる場合もあります。

◇使用するアプリケーション／ソフト

Microsoft Word / Excel、テキストエディタなど

◇使用するもの

FAX、ICレコーダー、デジタルカメラなど

■報酬の相場はどのぐらい？

- 例) ◇雑誌・書籍 1 ページ：約5,000円～
◇商品紹介・ショップ紹介 1 件：約3,500円～
◇ウェブサイト 1 ページ：約5,000円～

報酬は内容や掲載される媒体、経験などによって変わります。

■初心者はどの程度指導してもらえる？

基本的に初心者への指導はありませんが、仕事をする時に書き方や仕様（どのような文体で書くか、使用してよい記号や漢字はどういうものか、など）を教えてもらえます。仕様を守りながら書くことで、文章のルールなどを学ぶことができます。

また文章は、原稿への指摘を素直に受け止め、直しを重ねることで上達していきます。

ライターの仕事をもっとくわしく

どんな業界においても出版物やウェブサイトに掲載する文章が必要です。

興味のある・知識のある分野を持っているか、読者の目を引く情報を多く集められるか、ということが魅力ある文章を書くためのカギになります。文章は経験を積むことで上手くなっていきます。必要なものは他の職種に比べて少なく、在宅で仕事をしやすい業種です。

■初心者でも過去の仕事経験が生きる

印刷物やウェブサイトはあらゆる業界のものが出版され、公開されています。

編集やライティングの実務経験があるにこしたことはありませんが、初心者でも特定の業界で長年働いた経験がある、または資格を持っている、という場合は専門知識を買われて受注に繋がる場合があります。

またほとんどの場合、メールで連絡したり、原稿のやりとりをしたりしますので、仕事でパソコンを使った経験があればスムーズに仕事を始めることができます。接客やコンサルティングなど対人の仕事をした経験は、取材などで人と会う時に役に立ちます。編集やライティングに限らず、様々な職業経験が活かせる仕事です。

■人と接するのが好きな人・トレンドに敏感な人に向いている

ライターの仕事では、読み書きが好き・得意であることと共に、コミュニケーション能力が求められます。文章を書くのが仕事ですが、取材などで初対面の人と話をする場面が多々あります。また、打ち合わせでは編集者やクライアントとの意思の疎通が必要です。ビジネスマナーも重要になります。

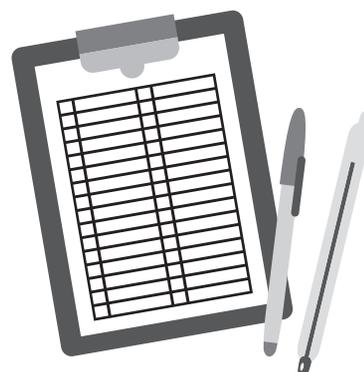
出版社や編集プロダクションに売り込みに行く際にも、人と接する態度や話し方が仕事を発注するかどうかを判断する材料になります。

また、文章を書く前に、情報を集めるのがライターの重要な仕事です。普段からトレンドに敏感で情報を収集するのが好きな人なら、より読者の興味を引く文章を書くことができるでしょう。

■初期投資が少なくスタートしやすい

ライターの仕事を始めるのに最低限必要なものは、パソコンとMicrosoft Office Wordなどの一般的なソフト、テキストエディタ、メールやインターネットなどの通信環境などです。普段からパソコンを使っている人であれば新たに購入するものが少なく、お金をかけずにスタートしやすい職種です。

ICレコーダーなどの備品は、必要に応じて徐々に揃えていくとよいでしょう。



ライターの仕事をしている人に聞いてみよう

東京都 平野さん(仮名)30代 女性

仕事内容：ライター

経歴：2003年にIT関連会社在职中に結婚、退職後出産。2008年にウェブライター講座を受講後、在宅でライターの仕事を開始。

毎日育児に明け暮れ鬱々としていたときに、公民館の保育付講座で情報誌を作りました。もともと読み書きが好きだったのですが、作文の課題をこなすうちに「これは天職だ!」と思うようになって、ライターの仕事をしようと決めました。

子どもが小さいので、「できれば在宅で」と思いインターネットで検索していたときにウェブライター講座を受講しました。電話取材の仕方などを学んだあと、ウェブサイトに掲載する文章を書いたのがライターとして初めての仕事でした。以降、少しずつ引き受ける量を増やしながら仕事をしています。

まだ駆け出しですが、ひとつの仕事にじっくり取り組み、ベストを尽くすことで技術が足りない分をカバーするように努力しています。またライターの仕事に生かすため、通信教育で校正技術と編集や印刷の知識を学んでいます。

今後は勉強しながらできるだけ多くの仕事をこなし、子どもが小学生になる頃にはライターと校正の仕事で目標の収入を超えるようになりたいと思っています。

千葉県 二宮さん(仮名)40代 女性

仕事内容：顧客視点アドバイザーとして主に家電分野の執筆、会報誌の制作・PR業務、PRコンサルタントやマーケティングなど

経歴：出版社、新聞社勤務を経て、2002年在宅でフリーライターとして活動を開始。その後マーケティング関連会社の企画・広報業務も兼務。2006年に合同会社を設立、2008年解散し株式会社を立ち上げる。

多忙で体を壊したことなどからフリーペーパーの新聞社を退職。40歳という年齢から、再就職よりこれまでの経験を生かしてフリーランスとしてやっていこうと考えました。SOHO関連のコミュニティに参加したり、ウェブサイトなどのライター募集をこまめにチェックして応募、その作品を実績にさらに営業を続けてきました。企画・広報の仕事にも出会い、さらには会社設立ということにもなったので、何より大切なのはいかに人との出会いを次につなげていくかということだと思います。

資格よりも、一つ一つの仕事を丁寧に、熱意をもって取り組むことに尽きるのではないのでしょうか。依頼主が望んだ以上のものを納めて信頼を得ていくことです。

今後は、生活家電関連のことだったらあの人に聞けばいい、何かをお願いしようと思ってもらえるように、広く世の中に知られるようになりたいと思っています。

ライターの仕事 チェックリスト

■チェック！ この仕事はあなたに合いそうですか？

1) 本や新聞を読むのが好きですか？

→文章を書くのが仕事ですが、資料やウェブページを読み解いて必要な情報をピックアップする力ことも必要です。

2) 1人であること、人と会うことの両方を楽しめますか？

→在宅ワークでライターの仕事をする場合、書くときはいつも1人です。一方、取材や打ち合わせで初対面の人と長時間話をすることもあります。1人である時はパソコンに向かって黙々と作業し、人と会うときには打ち解けて話をするというような切り替えも必要です。

3) 気になることはインターネットで検索しますか？

→正確な情報を読者に伝えるため、検索したり調べたりして情報を収集するのも大事な作業です。

4) 「新商品が出た」「あのお店の△△はおいしい」と聞いたら買ってみますか？

→常にアンテナを張って情報を仕入れることが仕事の役に立ちます。目新しいことにぱっと目が行く好奇心があれば、ライターに向いています。

■Home Workers Webのおすすめコンテンツ◇

・先輩在宅ワーカーに聞く！（ライター）

様々な分野で活躍する先輩に必要なスキルなどのお話を伺っています。

ライターは雪朱里さんが、必要なスキルや仕事の獲得方法などについて答えています。

<http://www.homeworkers.jp/sohonikiku/writer.html>

[ウェブページの開き方]

Home Workers Webのトップページより「インタビュー情報」→「先輩在宅ワーカーに聞く！」

・在宅ワーカーのためのキャリアデザイン

キャリア・コンサルタントの奥山睦さんが、職業能力の開発や異業種への参画などについて解説しています。

<http://www.homeworkers.jp/career/index.html>

[ウェブページの開き方]

Home Workers Webのトップページより「はじめての方はこちら」→「在宅ワーカーのためのキャリア・デザイン」

テープ起こしの仕事 基本情報

■どんな場所で発生する仕事？ 誰が発注者？

都道府県議会や市議会、またはマスコミ系の企業などで発生します。

仕事は地方自治体や企業から直接発注される場合と、テープ起こしの専門会社やエージェントなどから発注される場合があります。

■どんな仕事内容？

テープやICレコーダーなどに録音されている会議やインタビュー、セミナー、対談、パネルディスカッションなどの音声を聞いてパソコンで文字入力する仕事です。

■「参入するには」「一人前と言えるには」どの程度できればいい？

初心者は、まずテレビの音声などを30分録音し、文字に起こす練習をしてみましょう。30分のテープを起こす根気があるかどうか試してみましょう。技術はテープ起こしの講習、講座などで学ぶこともできます。

最低限1週間で音声1時間を起こせるようになったら、テープ起こしの専門会社やSOHOエージェントに登録してみましょう。テープ起こしのグループやメーリングリストに参加して、仕事の募集に応募するなどの方法で参入することができます。

ベテランは、1日で音声1時間分の起こしを仕上げてもあります。

◇使用するアプリケーション/ソフト

Microsoft Word、テキストエディタ、Okoshiyasu2 (テープ起こし用の音声ソフト) など

◇使用するもの

ヘッドホン、トランスクリイバー (カセットテープでの起こしが多い場合に使用)

■報酬の相場はどのくらい？

1時間分のテープにつき数千円～2万円程度が相場です。

※60分のカセットテープに録音されていても、録音時間が45分ならば45分ぶんの報酬になります。

■初心者はどの程度指導してもらえる？

グループに所属している場合、それぞれの仕事に合った起こし方のポイントなどは、グループリーダーに聞けばアドバイスしてもらえます。その場合でも、まずは自分で考え、調べる努力と、「この起こし方でいいのか知りたい」という前向きな姿勢が必要です。

テープ起こしの仕事をさらにくわしく

テープ起こしは在宅でできる仕事であると共に、居住地を選ばないことも魅力です。また、公的機関からの仕事も多く、安定して長期的に仕事を続けることができます。

仕事の中身は、ただ音声を文字にするだけではありません。多種多様な業界の音声を起こすためには、日頃からいろいろなことに興味を持ち、わからなければどんな業界の言葉でも調べる必要があります。経験を積みれば積むほど幅広い知識を得ることができる、奥の深い仕事です。

■地方に住んでいても、地元で受注することができる

都道府県議会や市町村議会では、議会の会議録を作ることが法律で定められています。したがって、議会の録音音声を起こす仕事が長期的、安定的に発生します。

また、各自治体は議会のほかに各種の審議会（有識者や市民代表に討議してもらう委員会など）を開催していますから、どの地域に住んでいてもテープ起こしの仕事を地元で受注できる可能性があります。

地元ですでにテープ起こしを受注しているグループがあれば、メンバーになることで仕事をスタートできます。市役所などに勤めている知人がいれば、担当者に紹介してもらって直接受注するなど、個人でも開拓の余地があります。

■探究心のある人には、知識を得る楽しみがある

いろいろな分野の内容を起こさなければならないので、様々な業界の知識が必要になります。普段から新聞を読むなどして、幅広く社会の情報や知識を得ようとする探究心が必要です。

また、医療など専門的な分野の音声を起こす場合、録音状態が明瞭でも話の内容や専門用語が理解できないこともあります。この場合、どういう意味なのか、どういう字を書くのか調べなくてはなりません。勉強が好きな人、インターネットで検索するなどして調べることが好きな人なら、楽しみながらできる仕事です。

■正確かつ空気を読んで起こせる人が重宝される

一言一句変わらずに文字に起こす作業するのがテープ起こしの仕事です。

しかし、「やっちゃって」という発言を、フォーマルな国際会議などでは「やっちゃって」と整えて起こす、しゃべり口調を生かして記事にするようなインタビューなら「やっちゃって」とそのまま起こすなど、用途にあった起こし方が求められます。

正確に文章を入力すると同時に、録音されているものの内容、雰囲気なども考えて起こすことができるようになれば、発注者からより信頼されるようになるでしょう。

テープ起こしをしている人に聞いてみよう

滋賀県 山岡さん(仮名)30代 女性

仕事内容：議会の音声やインタビューのテープ起こし

経歴：大学在学中からピアノ講師、音楽講師。結婚、出産を経て、ピアノ講師は現在も継続中。
2008年に在宅ワーク就業体験の講習を受け、テープ起こしの仕事を開始。

この仕事を始めたきっかけは、新聞で見つけた在宅ワークの講座でした。小さな子どもがいたので、もともと在宅ワークに興味がありました。託児があったので、迷わず申し込みをして受講をしました。

メーリングリストのお手伝い募集に応募してテープ起こしをしたのが、初めてのお仕事でした。できる限り丁寧に、時間厳守で取り組んだ結果、発注者の方から直接メールをいただいてお仕事をできるようになりました。また、講習で知り合った講師の方とのつながりを大切にしてきたことで、仕事を軌道に乗せることができましたと思います。

私はまだ初心者なので、さらに正確に起こせるようになって、発注者の方に信頼されるようになりたいと思います。クライアントから直接仕事を請けることができるようになるのが理想です。

宮城県 佐竹さん(仮名)30代 女性

仕事内容：テープ起こし、ライター

経歴：1998年、転勤を機に勤めていたソフトウェア会社の在宅入力業務を開始。2003年からパソコンインストラクターなどの外勤業務と並行してテープ起こしを開始。2005年から在宅業務中心。2008年に情報提供サイトの更新業務も開始。

在宅ワークと外勤を兼業していたところに、家庭の事情で私が1人で生計を立てることになりました。在宅ワークと契約社員やパートの業務の2本立てで働くほうが、フルタイムより若干収入が多かったことなどから、現在の形になりました。

テープ起こしをしている人が集まるメーリングリストに参加し、仕事を受注するほか、テープ起こしの専門会社に登録して実績を積みました。また、在宅ワークの仕事情報に応募してクライアントを獲得しました。在宅ワークの話題を中心にブログを書いて同業の方やライターの方と知り合い、少しずつ人脈が広がっていきました。今後は、営業サイトを作ってクライアントを増やしていきたいと思っています。

初心者の場合は、自分に何ができるかを把握することが大切です。また、自宅で土日に作業することもありますので、家族の理解を得ることも必要です。

テープ起こしの仕事 チェックリスト

■チェック！ この仕事はあなたに合いそうですか？

1) パソコンの前に長時間座っていることが苦にならない

→長時間座っての作業になります。じっとしているのが苦にならない、集中してできる、という人に向いている仕事です。

2) 新聞を読むのが好き

→さまざまな業界の録音テープを起こしますので、普段からニュースや旬の話題、政治・経済の話題などに触れて知識を蓄積しておく必要があります。

3) 初めて聞く言葉はすぐに検索する

→音で聞こえても、どういう意味かわからなかったり、漢字を知らなかったりする場合は正確な意味やどういう字を書くのかを調べる必要があります。調べるのが好き、新しい言葉を知ること喜びを感じる、という人に向いています。

4) タッチタイピングができる、またはできるようになりたいと思う

→テープを聞きながら速く入力するためには、タッチタイピングが必須です。
できない場合は、入力練習をしましょう。

■Home Workers Webのおすすめコンテンツ

・先輩ワーカーに聞く！（テープ起こし）

様々な分野で活躍する先輩に必要なスキルなどのお話を伺っています。

テープ起こしは川中利恵さんが、仕事内容や人的ネットワークについて答えています。

<http://www.homeworkers.jp/sohonikiku/tape.html>

[ウェブページの開き方]

Home Workers Webのトップページより「インタビュー情報」→「先輩在宅ワーカーに聞く！」

・あなたの強みと弱み

現在の状況を自己分析することができます。アドバイスやオススメリンクも見られます。

<http://www.homeworkers.jp/member/question.php>

[ウェブページの開き方]

Home Workers Webのトップページより「Eラーニング情報」→「あなたの強みと弱み」

ウェブ制作系の仕事 基本情報

■どんな場所で発生する仕事？ 誰が発注者？

ウェブ制作会社、編集プロダクションなどで発生します。SOHOエージェントから発注される場合もあります。

■どんな仕事内容？

ウェブページのデザイン、HTML・CSSのコーディング、画像・動画・CGI・Flash制作などをする仕事です。

■「参入するには」「一人前と言えるには」どの程度できればいい？

制作会社などでウェブ制作の実務経験がある場合は、実績を提示して直接売り込むことで参入することができます。

実務経験がなくても、独学でウェブページを制作し、実績を掲載することで受注に繋がる場合もあります。SOHOエージェントに登録して参入する方法もあります。

資格などは特に必要ありませんが、一人前として個人で仕事をするには、コンサルティングをしてクライアントの要望に沿ったウェブサイトを提案し、制作までを行う必要があります。

◇使用するアプリケーション／ソフト

Adobe Dreamweaver / Illustrator / Photoshop / Fireworksなど（制作するものによって必要なソフトが異なります）

■報酬の相場はどのくらい？

例) ◇デザイン込みのトップページ制作：約50,000円～

◇デザイン込みの追加ページ制作（1ページ）：約10,000円～

◇コーディングのみのトップページ制作：約5,000円～

デザインをするかどうかで報酬の金額は大きく異なります。画像や動画、Flashの制作は1点ごと、CGIプログラミングは1件ごとに報酬が発生します。

■初心者ほどの程度指導してもらえる？

個人で受注する場合、指導してもらえるということはまずありませんが、自分で勉強することは十分できます。

ウェブページ制作に関する本を見る、インターネットで検索するなどして制作の仕方やプログラミングを学べます。

ウェブ制作系の仕事をさらにくわしく

一つのウェブサイト全体を請け負う場合、クライアントとの打合せで必要なページやシステムは何か、検索エンジンで上位に表示させるためにどんな対策をすればいいか、などを的確に判断し、コンサルティングする必要があります。

■独学でスキルアップができる

HTMLコーディングやCGIプログラミングなどは、市販されている本で学ぶことができるほか、インターネットで沢山のサンプルや制作の例が公開されています。これらを参照しながら自分で制作したり、プログラミングしたりすることで勉強することができます。

■ウェブデザインにはセンスが必要

HTMLコーディングのみ行う場合は必要なタグを覚えれば受注することができますが、デザインをする場合はセンスが勝負の世界です。前職でインテリア関連やカラーコーディネーターなど、何らかの美的センスを生かして仕事をしていた人なら、ウェブデザインの仕事に向いています。

また、普段からいろいろなウェブサイトを見て、好まれるデザインや構成を研究したり、流行を把握したりする努力も必要です。

■人と接する機会が多い

個人でウェブページ一式を請け負う場合、宣伝・集客効果のあるウェブページを制作するために「どのような雰囲気のパージにしたいか」「どのようなシステムが必要か」など要望を聞き、コンサルティングする必要があります。

そのため、初対面の人と話をして相手の現状や改善が必要な点を聞き出すコミュニケーション能力が求められます。

コーディングや画像制作のみを仕事とする場合は、人と接することが苦手でも続けられるでしょう。

■SEOの知識

SEOとはSearch Engine Optimizationの略で、「サーチエンジンの最適化」という意味です。ウェブページは、検索エンジンに登録すると共に、検索結果ページの上位に表示されるような対策をすることでアクセス数を増やすことができます。

ウェブページ全体の制作を請け負う場合、このSEOに関する知識があることも重要になります。

```
function CSGetStyleAttrValue (
  var s=si.toUpperCase();
  var myID=id.toUpperCase()+".";
  var id1=s.indexOf(myID);
  if (id1==1) return "";
  s=s.substring(id1+myID.length+1,si.length);
  var id2=s.indexOf(".");
  return ((id2==1)?s:s.substring(0,id2));
}
function CSSetCSS2Props (si, id) {
  var el=document.getElementById(id);
  if (el==null) return;
  var style=document.getElementById(id).style;
  if (style) {
    if (style.left=="") style.left=CSGetStyleAttrValue("left",id);
    if (style.top=="") style.top=CSGetStyleAttrValue("top",id);
    if (style.width=="") style.width=CSGetStyleAttrValue("width",id);
    if (style.height=="") style.height=CSGetStyleAttrValue("height",id);
    if (style.visibility=="") style.visibility=CSGetStyleAttrValue("visibility",id);
    if (style.zIndex=="") style.zIndex=CSGetStyleAttrValue("zIndex",id);
  }
}
function CSClickReturn () {
  var bAgent = window.navigator.userAgent;
  var bAppName = window.navigator.appName;
  if ((bAppName.indexOf("Explorer") >= 0) &&
    return true; /* dont follow link */
  else return false; /* dont follow link */
}
```

ウェブ制作の仕事をしている人に聞いてみよう

静岡県 松尾さん(仮名)40代 女性

仕事内容：ウェブ制作全般

経歴：システム開発エンジニアとして勤務後、結婚・出産を経てフリーランスに。2000年、契約社員のかたわら在宅でウェブ制作の仕事を開始。2001年から在宅でのウェブ制作を本業として現在に至る。

長年システム開発の仕事をしていたのですが、会社との契約が切れる頃、ホームページの制作に興味を持ったのがスタートしたきっかけです。

独学でのスタートだったので、必要なスキルを身につけるための勉強を惜しまず、毎日情報収集をし、自分を売り込みました。オファーがあった仕事は常に請けて、最後まで責任を持って対応し、依頼主とのコミュニケーションを常に取ることを心がけ、紹介やリピートで仕事をいただけるようになりました。

変化の早い業界なので、いろいろなサイトを見る、情報収集をこまめにするなどして、常に流行をつかんでおく必要があります。

今後は毎月コンスタントに仕事をこなして、人脈や仕事の幅を拡げていきたいと思っています。また、スキルを生かして女性向けのポータルサイトのようなものを作れたら、と思っています。

東京都 中込さん(仮名)30代 男性

仕事内容：インターネット動画配信

経歴：2005年テレビ局退社後、区の創業支援施設でタタミ2畳分のスペースにて創業。事業拡大につき2006年、2008年と事務所拡張移転。

自宅のある区に創業支援サービスがあったことが、在宅で仕事を始めたきっかけでした。実績のない事業者には仕事は来ないと思いましたので、はじめは市場調査も兼ねて料金に関わらず実績作りを優先しました。現在発注側になるときも、やはり相手先の実績を判断材料にします。また、地元の異業種交流会、東京中小企業家同友会へ入会したり、セミナーに参加したりしてネットワークを作ってきました。

はじめは苦勞するのが当然だと思っていたので大変とは思わなかったのですが、今になって思えば運転資金のやりくりには苦勞しました。アルバイトさんへの支払いを期日に間に合わせるため、夜中に肉体労働をしたことも…。でも、その時の気迫のようなものが、現在の会社経営にも生きています。

私には特にスキルや資格がない分、人の何倍もの努力が必要だと感じています。今後は、新規事業の立ち上げをするなど、チャレンジし続けたいと思っています。

ウェブ制作系の仕事 チェックリスト

■チェック！ この仕事はあなたに合いそうですか？

1) 部屋のレイアウトやインテリアにこだわりがありますか？

→ウェブ制作では、デザインセンスが重要になります。普段からインテリアのカラーを意識して家具を置くなど、コーディネートを意識している人ならこの仕事に向いています。

2) 熱中して時間が経つのを忘れた経験がありますか？

→繁忙期には徹夜で作業をする場合もあります。「好きなことなら寝食惜しんで取り組みたい」「ウェブサイトを作るのが好きでたまらない」という人なら、続けていけるでしょう。

3) 新しいことを学ぶのが苦になりませんか？

→新しい技術やシステムが次々と現れる業界です。デザインの流行が入れ替わるスピードも速く、常に勉強することが必要になります。

4) プログラミング言語に興味がありますか？

→ページ制作をするにはHTML言語を理解しておく必要がありますし、CGIではPerlやPHPなどの言語でプログラミングをします。

こういったプログラミング言語の本を見たり、ウェブサイトのソースを見たりして「面白い」と思える人なら、ウェブ制作に向いています。

■Home Workers Webのおすすめコンテンツ◇

・先輩在宅ワーカーに聞く！（WEBデザイナーの仕事）

様々な分野で活躍する先輩に必要なスキルなどのお話を伺っています。

WEBデザイナーは古菅多喜子さんが、必要な勉強やスキルについて答えています。

<http://www.homeworkers.jp/sohonikiku/web.html>

[ウェブページの開き方]

Home Workers Webのトップページより「インタビュー情報」→「先輩在宅ワーカーに聞く！」

・セミナー情報

在宅ワークを始めるのに役立つセミナーの情報を掲載しています。

<http://www.homeworkers.jp/seminar/index.html>

[ウェブページの開き方]

Home Workers Webのトップページより「セミナー情報」

DTP系の仕事 基本情報

■どんな場所で発生する仕事？ 誰が発注者？

出版社や編集プロダクション、制作会社などで発生します。SOHOエージェントから発注される場合もあります。DTPの仕事は、多くが個人事務所などに委託されています。

■どんな仕事内容？

大きく分けて2種類の仕事があります。

◇DTPデザイナー

雑誌、書籍などの印刷物のデザイン、フォーマット作成などを行います。デザインセンスの問われる仕事です。

◇DTPオペレーター・トレース

デザイナーが作成したフォーマットに文字や画像を入力するのがオペレーターの仕事です。トレースは地図や図表などをAdobe Illustratorなどの画像ソフトに取り込んでなぞるようにして写し取り、誌面のデザインやルールに沿うように画像を制作する仕事です。

■「参入するには」「一人前と言えるには」どの程度できればいい？

制作に携わった出版物などの実績を持って売り込む、SOHOエージェントに登録するなどの方法があります。デザイン学校に通うという方法もありますが、学ぶのは主にソフトの使用方法です。制作会社で実務経験を積んで印刷に関するルールなどを覚えることで一人前となり、個人でも仕事ができるようになります。

一度身につけると在宅ワークでできる他の職種より高い収入が期待できる、専門性の高い仕事です。

◇使用するアプリケーション／ソフト

Adobe Illustrator / Photoshop / InDesign、QuarkXPress、フォントソフトなど

■報酬の相場はどのくらい？

- 例) ◇デザイン：1ページ25,000円～
◇図版制作：1点5,000円～
◇地図トレース：1点800円～1,000円

■初心者はどの程度指導してもらえる？

初心者の指導は基本的にありません。制作会社などで実務経験を積むことが第一です。

DTPの仕事をしている人に聞いてみよう

埼玉県 春日さん(仮名)60代 男性

仕事内容：DTP、ウェブデザイン

経歴：1985年に会社から独立、デザイン事務所を設立。1995年にSOHOをスタート。

会社案内や企業のIR情報誌などの固いデザインのもの、社内報やパンフレットなどのデザインワークなどの他、小規模事業所で発生する印刷物のDTP、そしてウェブデザインがメインの仕事。

共同経営事務所の解散と結婚を機に、30年住み慣れた原宿を後にする決心をしました。通信インフラも整いつつあったので、空気のきれいな地方へ転居し、徹夜仕事はやめて締め切りに追われることが少ない仕事を増やし、ゆっくり仕事をしようと思いました。

初めは通信機器設備を充実させ、それと同時にネット上で仕事探しをしたり、観光地の旅館向けに、DTPやホームページ制作のダイレクトメールを打ったりしました。

前の会社やデザイン事務所で育てた若手がSOHOとして活動を始めたので、人的ネットワークを作る苦労はありませんでした。

DTPや通信、デザインに関するスキルは必須ですが、それ以上に対人コミュニケーションが非常に重要です。成果物のデリバリーは通信や宅配便でほぼ可能になりつつありますが、それゆえ、数少ない対面打ち合わせでのコミュニケーションが以前にもまして大切だなと感じます。そして、メールでのやり取りも増え、メールマナーがとても重要だと思います。

今後は、ウェブデザインプログラミングを本格的に学び、力を入れていこうと考えています。特に、インターネットとは無縁だった周辺の小さな商店さんがネットを軸に地域コミュニケーションを作り、地域の活性化に取り組む活動を支援していこうと考えています。

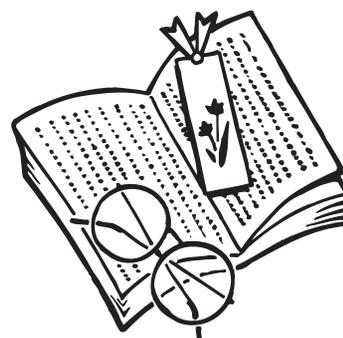
■チェック！ この仕事はあなたに合いそうですか？

1) 細かい作業が好きですか？

→DTPオペレーターの仕事では、デザイナーが作成したフォーマット通りに、寸分の狂いもなくレイアウトする緻密な作業が必要です。

2) 体力に自信がありますか？

→DTPは出版物を制作する最終工程なので、前段階の進行が遅れていても締め切りに間に合わせなくてはなりません。徹夜の作業になることもあります。



システムエンジニア・プログラマー系の仕事 基本情報

■どんな場所で発生する仕事？ 誰が発注者？

どの会社でもネットワークや経理などのシステムが必要ですので、あらゆる企業で発生します。IT関連企業やコンサルタント会社がシステム開発を請け負い、プログラミングなどを個人のシステムエンジニア(SE)やプログラマーに発注します。

SOHOエージェントから発注される場合もあります。

■どんな仕事内容？

SEは主にどのようなシステムが必要なのかをコンサルティングし、設計する仕事です。

プログラマーはSEからの設計通りにプログラムを作成する仕事です。

個人でコンサルティングをして大規模なシステム開発を請け負うということは、あまりありません。多くの個人事業主が小規模なプログラミングなどを請け負い、システムエンジニアとプログラマーの役割を兼ねて仕事をしています。

個人情報保護や守秘義務が厳しくなっているので、設計図などを社外に持ち出すことが出来ない場合が多いこと、決まった条件の下で動作テストなどを行う必要があることなどから、企業に常駐して仕事をすることが多くなっています。

■「参入するには」「一人前と言えるには」どの程度できればいい？

プログラム言語を独学で習得すれば、実務経験がなくても受注することができます。実績となるシステムやプログラムを作り、提示することで参入できます。また、ウェブページを作って制作したプログラムをインターネットで公開し、アピールすることで受注につながることもあります。

使用する言語にはさまざまな種類があり、習得している言語を使用するシステム開発やプログラミングを請け負います。コンサルティングからプログラミングやテスト、導入後のサポートまでできるようになれば一人前と言えるでしょう。

◇使用するプログラム言語

Perl、C言語、Java、PHP、.NETなど

■報酬の相場はどのくらい？

担当するプロジェクトによります。

■初心者はどの程度指導してもらえる？

初心者の指導は基本的にありません。しかし、プログラム言語は市販されている書籍やインターネットで公開されていますので、実務経験がなくても独学でスキルアップすることができます。

システムエンジニア・プログラマーに聞いてみよう

茨城県 内藤さん(仮名)40代 男性

仕事内容：システム・プログラムの作成

経歴：1986年より自動車部品メーカーに勤務、主に組込制御用ソフトウェアの設計を担当。
1995年～1997年の間ソフトウェア会社に勤務、主にPC用ソフトウェアの設計を担当。
2000年、事務機器関連会社を退社、フリーとして仕事を開始。

Accessを使用したシステム作成、PHP言語を使ったウェブ用のプログラム作成をしています。2000年に退職した後の1年間、IT講習会の講師を勤めたのですが、その中でシステム開発を行っている業者と知り合い、仕事を請けるようになったのがきっかけで在宅での仕事を始めました。

サラリーマンと違って収入が不安定な部分はありますが、お客様に対してより良いものを作るように努力したことで、継続して仕事をもらえているのではないかと思います。

私が請け負っている仕事は、規模が大きくなく、一人で対応できるものです。

個人で大規模な仕事を請ける事は難しいと思いますが、中小企業や個人事業主の中には、システム関係を企業に発注すると金額が高すぎて発注できないというところがありますので、そのようなところから受注できるよう、働きかけるといいのではないかと思います。また、セミナーなどに参加して、人的ネットワークを作るのもいいと思います。

資格などはあまり関係ないと思いますが、心がけとしては、自分のスキルを高めるよう、向上心を持つこと。それから、お客様にとってよりよいものを作るように努力することです。

今後は、プログラミング以外でも収入を得られるようにしたいと思っています。

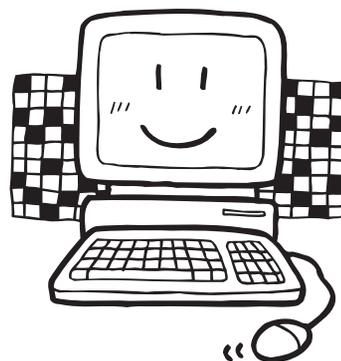
■チェック！ この仕事はあなたに合いそうですか？

1) パソコンやソフトが作られる過程に興味がありますか？

→パーツを購入してパソコンを自作したり、趣味でゲームを作ったりしている人なら、よりこの仕事に向いています。

2) 根気強い方ですか？

→プログラムに間違いが1つあっただけでシステムが動かなくなるということもあります。何度もチェックとテストを繰り返す地道な作業が必要な仕事です。



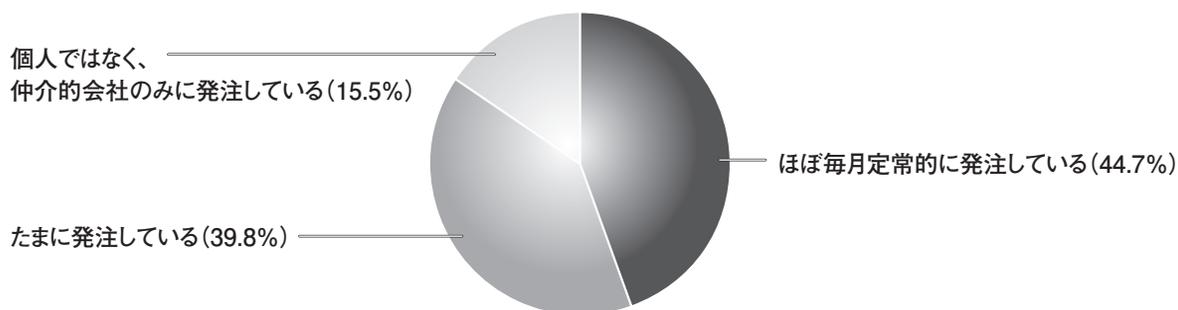
在宅ワーク発注企業アンケート

在宅ワーカーへの発注を行っている企業の発注担当者1,000人に対しアンケートを行い、発注の最新動向を調べました（実施時期：2009年3月）。

【在宅ワーカーへの発注の動向】

在宅ワーカーに業務を発注することはありますか

[SA](n=1000)

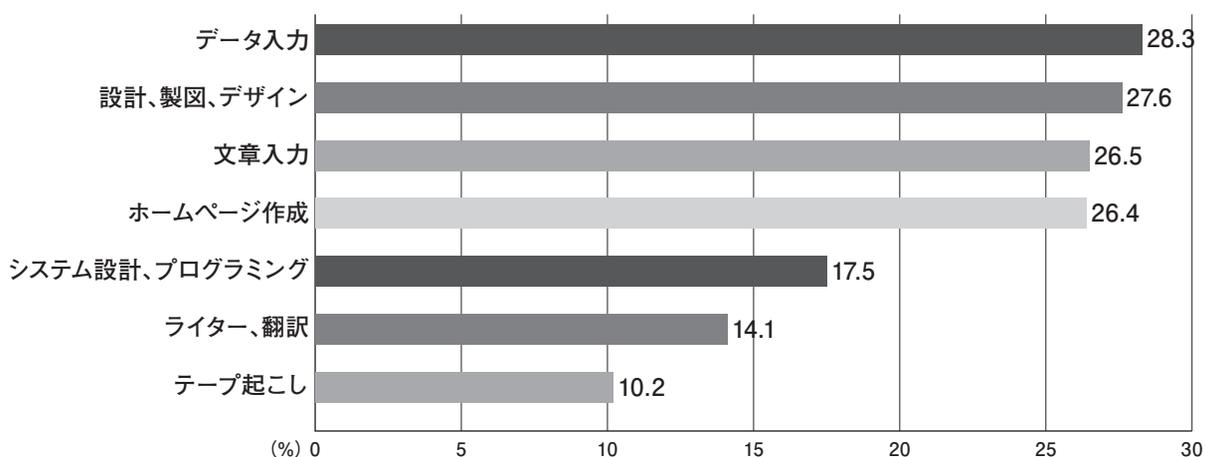


- ・在宅ワーカーへの発注をほぼ毎月定期的に行っていると回答した企業は45%。
- ・各社の稼動在宅ワーカー数は平均で29人（定期的に発注している場合）。

【在宅ワーカーに発注した業務内容】

在宅ワーカーまたは仲介会社への発注業務内容（上位3つまで）

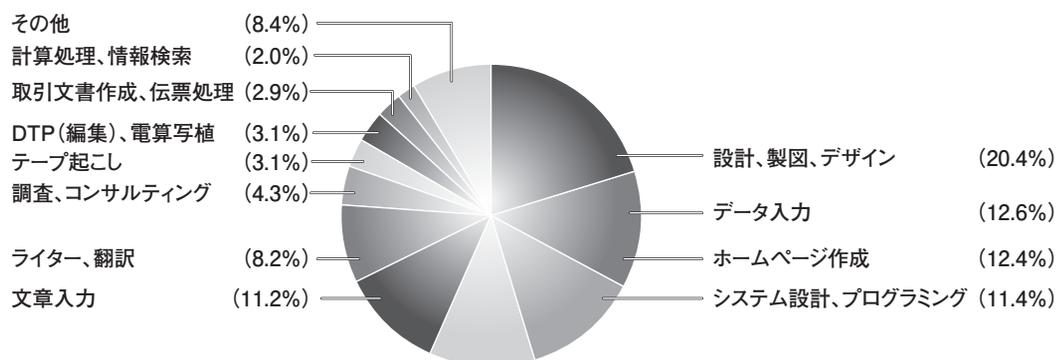
[MA](n=1000)



- ・「データ入力」、「設計・製図・デザイン」、「文章入力」、「ホームページ作成」がそれぞれ3割を占める。

前表での業務（仕事）の内容の中で最も発注金額が多いもの

[SA](n=1000)

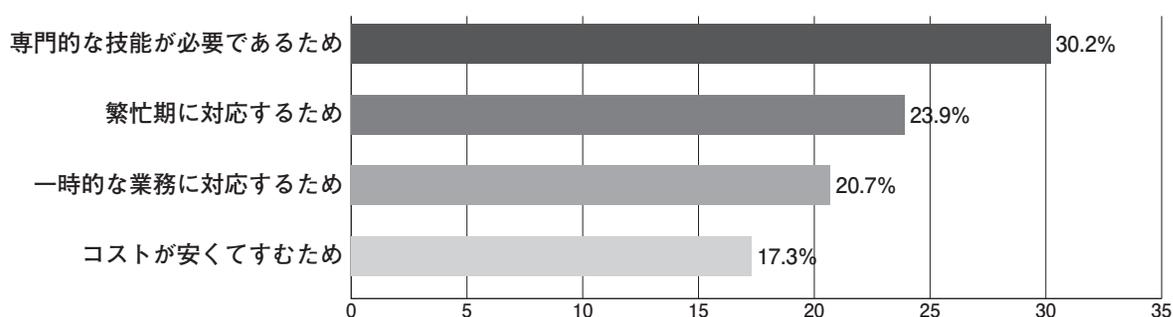


- ・ なかでも、発注金額が最も多い業務は「設計・製図・デザイン」。

【在宅ワーカーへ仕事を発注する理由】

在宅ワーカーまたは仲介の会社に発注している理由をお書きください

[SA](n=1000)

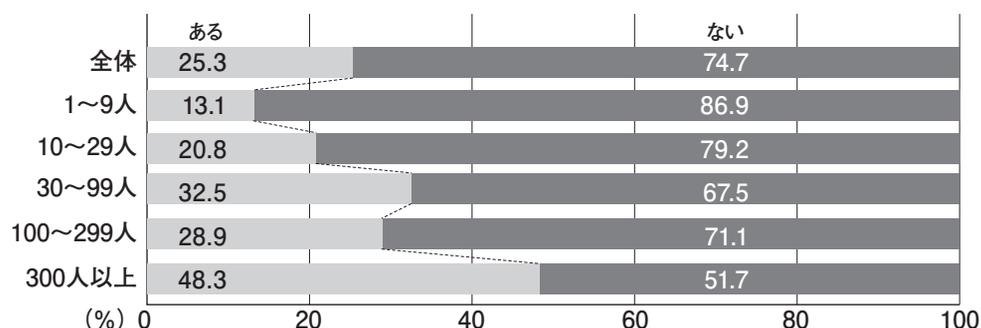


- ・ 在宅ワーカーへの発注理由で最も多いものが「専門的スキル」。ついで、「繁忙期や一時的なニーズに対応するため」との回答。「コストが安くすむ」との回答も2割近くになっています。

【在宅ワーカーの登録制度の有無】

在宅ワーカーの登録制度はありますか（従業員規模別）

[SA](n=845)

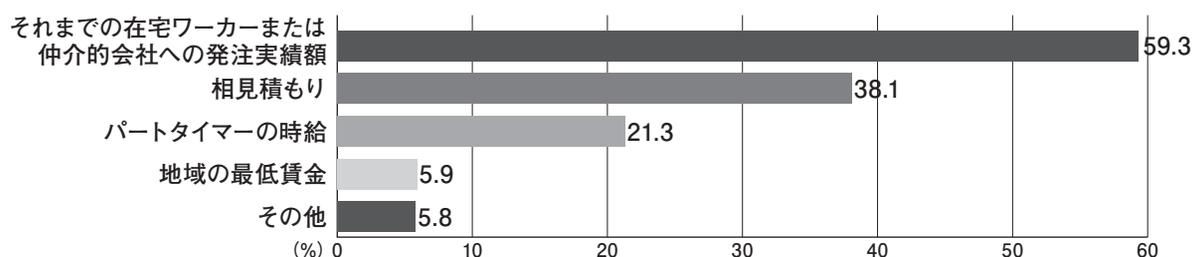


- 登録制度を持つ企業は全体の4分の1。
- 従業員規模別にみると、300人以上の規模の企業では、ほぼ半数が登録制度をもっていますが、小規模企業では1割台となります。在宅ワーカーにとっては、発注企業との関係構築が課題といえます。

【在宅ワークの報酬決定】

在宅ワーカーまたは仲介的会社への仕事の報酬額は、どのようなことを参考にして決めていますか

[MA](n=1000)

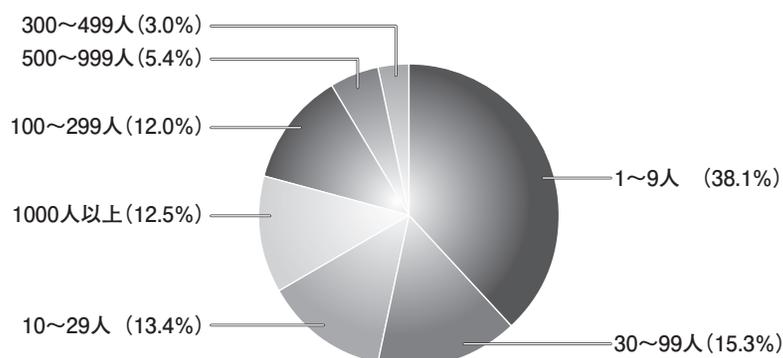


- ほぼ6割が「発注実績額」と回答。

【発注担当者のプロフィール】

発注企業の正規従業員数

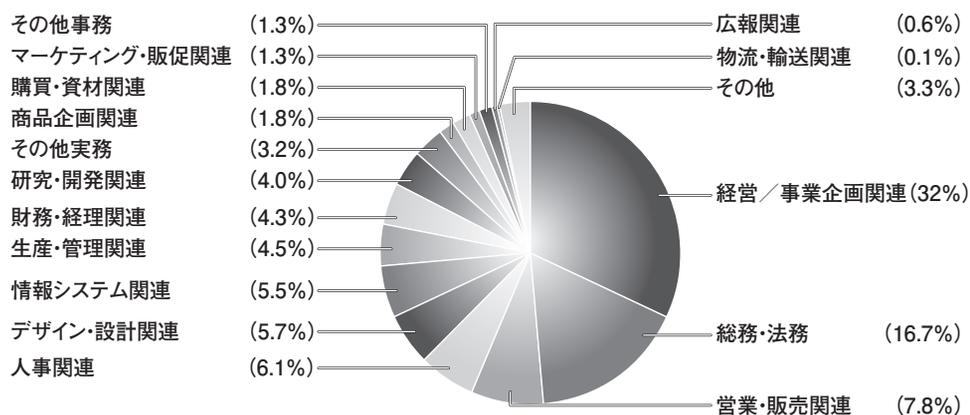
[SA](n=879)



- 在宅ワーカーに発注していると回答した企業の従業員規模をみると、30人未満の小規模企業が半数を占めます。500人以上の大企業も約2割を占めます。

発注担当者の所属部門

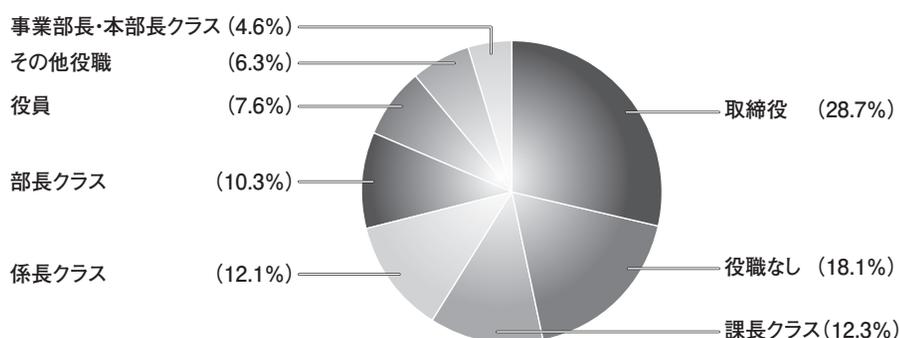
[SA](n=1000)



- ・ 実際に在宅ワーカーへの発注を担当している部門は、「経営/事業企画関連」「総務・法務」が多く、ついで「営業・販売関連」「人事関連」。現場のニーズに対応して多岐に渡っています。

発注担当者の役職

[SA](n=1000)

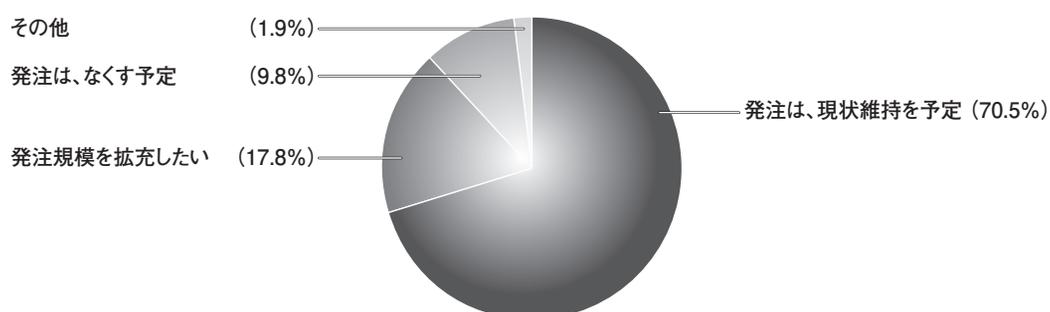


- ・ 発注担当者の役職をみると、「取締役」などの会社経営者が3割近くと最も多いです。
- ・ 「役職なし」、「課長クラス」「係長クラス」「部長クラス」が1割台を占めます。

【在宅ワーカーへの今後の発注見通し】

今後の在宅ワーカーまたは仲介会社への発注意向

[SA](n=1000)



- ・ 今後の発注意向では、約7割が現状維持と回答。

Coffee Break

得意なことはダブル・トリプルに生かそう

在宅ワークを長年続けている人は、得意なことを複数の分野に生かして仕事していることがあります。より広い範囲の仕事ができれば発注者にとって依頼しやすくなりますし、受注する側には相互作用でスキルアップにつながる、より人脈が広がるというメリットがあります。

例1 入力+テープ起こし+パソコン教室

Aさんは、入力の速さと正確さを生かして、データ入力とテープ起こしの両方を手がけています。さらには、Aさんが入力の仕事をしていることを知った近所の人から、「パソコンを教えて」と頼んできました。Aさんには、教えるという得意分野もできていきました。

例2 ライター+HTMLコーディング

Bさんは、ただ原稿を執筆するだけでなく、その文章を掲載するウェブページのHTMLコーディングまでまとめてこなすことができます。仕事の流れをひとまとめに請け負えることで、受注に有利だと感じています。

例3 作る+教える+書く

料理が得意なCさんは、念願かなって自分の店を持ちました。さらには、店の営業時間外に、料理教室を開くことになりました。しかも、声をかけてくれる人があってクッキング分野のライターとしても活躍しています。

まとめて請け負うことができる仕事や、相互にプラスになる仕事方法はいろいろあります。自分の得意分野はどう使えるか、ぜひ考えてみましょう。



第3章

在宅ワーク支援拠点情報

この章では、在宅ワークを支援してくれる拠点の情報を掲載します。交流会を開催している、相談窓口がある、メールマガジンを発行しているなど、拠点ごとにその機能はさまざまです。これらの拠点を活用して仲間作りや情報収集などを行えば、在宅ワークをしていく上での大きな助けになるでしょう。

また、在宅ワークを発注する企業などに対するインタビューも掲載しています。

在宅ワーク支援拠点情報について

ここまでの第1章・第2章で取り上げたように、在宅ワークというのはたとえ自宅を拠点にしてもまったくの単独で行うものではなく、人とのつながりが必要です。また、会社勤めなどと違い直接の上司や同僚がいないため、相談できる相手は意識して見つけなければなりません。スキルアップのためにセミナーなどを受講することも欠かせません。

これらのために支援の手を差し伸べる拠点は全国にあります。この第3章では在宅ワーク支援拠点の情報を掲載します。支援拠点は、次に紹介するようなさまざまな機能を持っています。

■仕事を見つけることができる

在宅ワーク支援拠点の中には、仕事の紹介や発注を行っている拠点があります。仕事の「発注」を行うのは主に民間企業や民間のエージェントですが、公的機関などでも仕事の「紹介」を行っている場合があります。また、この章で任意団体やコミュニティに分類されている拠点でも、仕事の紹介や発注を行っているものがあります。

※地域が限定される・メンバー登録が必要など、それぞれの規定があるので確認しましょう。

仕事の紹介や発注などを利用する場合は、自分にとって適当と思われる報酬金額や納期と納得できる場合に、自己責任で手を挙げましょう。ただし、発注者側に非があると考えられるような事態に遭遇したなどの場合には、相談窓口がある支援拠点で相談してみましょう。

■交流会やセミナーに参加できる

仲間づくりや情報交換のために開催されるイベントが交流会、知識を学ぶためやスキルアップに開催されるイベントがセミナー・講演会というのが、大まかな区分です。どちらも在宅ワーカーにとっては役立ちます。各拠点のウェブサイトをときどき見てみると、これらのイベントの告知が掲載されていることがあります。

交流会で人的ネットワークが広がるのはもちろんですが、セミナーで人的ネットワークを広げることともできます。会場では隣の席の人に挨拶してみる、名刺を持って行って講師に挨拶するなど思い切ってはたらきかけてみましょう。

■相談ができる

「そもそも自分に何の仕事が向くのわからない」「仕事で窮地に陥った」「さらに仕事として発展させるためにはどうしたらいいだろう」…在宅ワークにおける各段階で、さまざまな悩みが発生します。そんなときは、相談やカウンセリングの機能を持つ支援拠点を利用してみましょう。専門家が親身に応じてくれます。こころのケアなど幅広く対応してくれる拠点もあります。

※予約が必要など、拠点によって体制が違うので確認して利用しましょう。

■メーリングリスト・SNS・メールマガジンなどを利用できる

メーリングリストやSNSの機能については、第1章16ページで取り上げています。仲間作りや情報収集に役立つものですので、自分に合うものを探して参加してみましょう。

メールマガジン（メルマガ）とは、自分のメールアドレスを購読登録しておくことで、登録先からメールの形で情報が届くというものです。仕事情報を配信するメルマガや、交流会・セミナーなどイベントの開催情報などを配信するメルマガなど、拠点の性質によってさまざまなタイプがあります。家にながらにして最新情報を収集できる便利なツールとして、メルマガを活用してみましょう。

■インキュベーション施設を利用できる

インキュベーションとは、卵をふ化させるというのがもともとの意味です。そこから転じて、インキュベーション施設とは、新事業の創出・育成を支援するための施設を意味します。賃貸オフィスに似ていますが、事業の相談に乗るスタッフがいることや、スキルアップのためのセミナー、入居者同士の交流会が開催されるなど、「支援」という側面の強いことが特徴です。

在宅ワークの性質によっては、最初は自宅を拠点にスタートし、手ずまになったらインキュベーション施設に移り、やがて事業として発展させて一般の賃貸オフィスなどに移るという発展段階をたどることも可能です。

また、これらのインキュベーション施設が主催するセミナーは、在宅ワーカーにも役立つものもあるので探して参加してみましょう。

■在宅ワーク支援拠点は他にもある

この第3章に掲載したのは、全国の支援拠点の一部です。他に、全国の男女共同参画センターや商工会議所、商工会なども、在宅ワークに役立つイベントを開催したり、在宅ワークをスタートしたい人の相談に乗ってくれる場合があります。

また、地元の地方自治体が発行する広報紙などに、ふだんから目を通す習慣をつけましょう。関連するイベント予定などが掲載されていることがあります。



情報の見方

70ページから、各地のさまざまな在宅ワーク支援拠点情報を掲載します。情報の見方は次のとおりです。

【掲載例】

静岡県 **相談** **交流** **施設** **SEM.** **M.M.**

【名称】 SOHOしずおか

【種別】 インキュベーション施設

【所在地】 静岡県静岡市葵区紺屋町3-10
中島ビル6F

【電話番号】 (054) 653-8800

【E-Mail】 info@soho-shizuoka.gr.jp

【Web】 <http://www.soho-shizuoka.gr.jp/shizuoka/>



静岡市などが運営にあたる公的創業支援施設。インキュベーション施設として出発し、現在は「公的インキュベーターを核とした地域産業おこしの拠点」となっている。地元地方銀行からの出向者が「インキュベーションマネージャー」として常駐、施設の入居者だけでなく、起業を目指す人など、地域のビジネスのあらゆる相談に対応している。

【在宅ワークに関連する活動（あるいは事業）内容】

上部のアイコンは、在宅ワークに関連する活動（企業などの場合は「事業」）内容を表わします。

- 相談** 相談・カウンセリングの機能がある
- 交流** 交流会等を開催している
- 施設** インキュベーション施設がある
- 紹介** 仕事の紹介を行っている
- 発注** 仕事の発注を行っている
- SEM.** セミナー・勉強会等を開催している
- M.M.** メールマガジンで情報を提供している
- M.L.** メーリングリストによる情報交換機能がある
- SNS** SNSによる情報交換機能がある
- ETC.** その他（内容は、備考欄に記載）

【都道府県名】

施設などの情報ではその施設がある都道府県を表わしています。その都道府県在住者を主に支援する拠点と、地域を問わず支援する拠点があります。

インターネット上のコミュニティなどの情報では、そのコミュニティを運営する企業などが存在する都道府県を表わします。インターネット上のコミュニティなどの場合は、あくまで活動拠点は特定の都道府県ではなくインターネット上ということになります。

【種別】

次の7種類に分けて掲載しています。

- 1) 公的支援拠点…国・都道府県・市町村などが主体となって運営する拠点
 - 2) 公益法人・NPOなど…財団法人、社団法人、特定非営利活動法人、法人格を持たないNPOなどが運営する拠点
 - 3) インキュベーション施設…性質はP67で説明しています
 - 4) 任意団体…1～3に当てはまらない団体
 - 5) コミュニティ…主にインターネット上で活動する団体
- ※ 発注企業・エージェント・ビジネスマッチングサイトなど、84ページよりインタビューを掲載しています。

【紹介文】

その拠点について説明しています。

【備考】

特に利用上の注意点などがある場合に記載しています。また、活動内容のアイコンに「その他」がある場合は、その他の具体的な内容について記載しています。

※情報の掲載順について

都道府県は北から順に掲載。同一都道府県内では、道府県の県庁所在地（東京は区部）を最初に掲載、その他の市町村は五十音順に掲載。

東京都 交流 相談 SEM, SNS

- 【名称】在宅ワーカー支援Home Worker's Web
- 【種別】公益法人・NPOなど(厚生労働省委託事業)
- 【所在地】東京都渋谷区渋谷3-1-1
- 【電話番号】(03)3409-1140(在宅ワーク相談室)
- 【E-Mail】zaitaku@jpc-sed.or.jp
- 【Web】<http://www.homeworkers.jp/>



厚生労働省の委託により、財団法人社会経済生産性本部 在宅ワーカー支援事務局が運営している。ウェブサイト上でのスキルアップシステムなどの他、在宅ワークセミナー・座談会などを開催している。

在宅ワーク相談室

在宅ワークをこれから始めたい方、始めて間もない方へ、電話とe-mail、面談による相談を行っている。 ※仕事のあっせんはしていない

電話 : (03)3409-1140 (土日・祝日を除く9:30 ~ 16:30)

メール: ウェブサイト上のメールフォームより

セミナー

在宅ワーク・再就職セミナー、就業体験、座談会などを開催。

コンテンツの特色

ウェブサイトは、現役在宅ワーカーの協力のもと、在宅ワークを今すぐ始めたい方、準備をしたい方などに役に立つ情報が掲載されている。

- ・在宅ワークセミナー: セミナー開催の最新情報のほか、在宅のままセミナーの状況がわかるビデオストリーミングを掲載。
- ・在宅ワークガイドライン: 在宅ワークを安心して行うために、厚生労働省の出しているガイドラインを掲載
- ・あなたの在宅ワークを探そう!: タイプ別に、先輩在宅ワーカー事例を紹介
- ・在宅ワーカーのためのキャリア・デザイン: キャリア・コンサルタント奥山睦さんによる解説
- ・よくある質問: 在宅ワーク相談室に寄せられる質問をもとに、重要ポイントを紹介
- ・Eラーニング情報(在宅ワーカースキルアップシステム): 在宅ワークに必要な知識や能力について学習できるコンテンツのほか、在宅ワーカーとしてPRする際に利用できるフォーマット(自己PRシート作成システム)を提供。

東京都 **相談 SEM. M.M. ETC.**

- 【名称】女性と仕事の未来館
- 【種別】公的支援拠点
- 【所在地】東京都港区芝5-35-3
- 【電話番号】(03)5444-4151 (代)
- 【Web】<http://www.miraikan.go.jp/>
- 【備考】託児施設あり(1歳半から小学校1年生まで。有料・要予約)



働く女性・働きたい女性が、健康でかつ、その能力を十分に発揮できるよう支援するための事業拠点。キャリアアップ・起業など、働く女性・働きたい女性を応援するさまざまなテーマのセミナー、講演会を実施している。

また、「未来館相談室」では、女性が「働く」ことをめぐるさまざまな悩みや疑問、こころや健康の相談に応じている。電話による総合相談、面接による特別相談、Eメール相談がある。

総合相談

相談専用電話に電話をすると、まず総合相談員が話をじっくり聞いてくれる。特に専門的な相談の場合は、総合相談の後、面接による特別相談の日時を予約できる。直接来館して総合相談を受けることも可能。

相談専用電話：(03)5444-4155

特別相談(面談)

それぞれの分野の専門家が、直接会って相談に応じてくれる。総合相談時に日時を予約する。

【相談分野】	【開設曜日・時間】
キャリア・カウンセリング	火～土 10:00～13:00 火・金 17:00～20:00
法律相談	土曜 12:00～16:00
こころの相談	木曜 10:00～13:00 金曜、第4木曜 17:00～20:00
健康相談	(不定期)

Eメール相談

開館時間内に電話したり来館する時間がとれない場合は、Eメールによる相談も受け付けている。ホームページ上の相談フォームに記入の上、送信すること。後日、Eメールで回答される。

東京都 相談 SEM

【名称】東京しごとセンター
 【種別】公的支援拠点
 【所在地】東京都千代田区飯田橋3-10-3
 【電話番号】(03)5211-1571
 【Web】http://www.tokyoshigoto.jp/

東京都が都民の雇用・就業を支援するために設置した「しごとに関するワンストップサービスセンター」。都内在住者に限らず利用できる。すべての年齢層の求職者を対象として、就業相談(キャリアカウンセリング)や各種セミナー、求人情報の提供・職業紹介などを行っている。

利用時間

平日 9:00～20:00
 土曜 9:00～17:00
 (日曜祝日・年末年始は休業)

The screenshot shows the homepage of the Tokyo Shigoto Center. It features a navigation menu at the top with options like 'Home', 'About Us', 'Services', and 'Contact Us'. The main content area is divided into several sections: 'Job Information Portal Site', 'Job Vacancies', and 'Upcoming Events'. The 'Job Vacancies' section lists various openings with dates and details. The 'Upcoming Events' section lists seminars and workshops. At the bottom, there is a table for 'Job Vacancies' with columns for date, time, and details.

専門相談では、専門相談員による「起業・創業相談」や「社会保険・年金相談」、NPO・ボランティアでの就業や在宅ワークなどの「多様な働き方相談」などを実施している。また、「職業適性相談・検査適性相談」では、興味・関心に関する検査、能力に関する検査、性格・対人関係に関する検査が受けられる。専門相談は事前予約制。

	月	火	水	木	金	相談時間
起業・創業相談	○		○		○	9時～17時
社会保険・年金相談				○		13時～17時
職業適性相談	○	○	○	○	○	9時～17時
職業適性検査			○		○	9時30分～
多様な働き方の相談	○	○	○	○	○	9時～17時

予約・問い合わせ

総合相談 電話 (03)5211-1571 へ

北海道 交流 SEM.

- 【名 称】特定非営利活動法人
北海道マイクロビジネス推進協議会
- 【種 別】公益法人・NPOなど
- 【所在地】北海道札幌市中央区南4条西6丁目4番4号
札幌タイキビル2F
- 【電話番号】(011) 299-3123
- 【E-Mail】info@norths-one.jp
- 【Web】<http://www.norths-one.jp/>
<http://www.site-project.org/>



SOHO、テレワーカーなど、新しいワークスタイルの普及促進を通じて、北海道を元気にしていくNPOで、SOHOの他学識経験者や発注側企業で構成されている。セミナーや交流会などを通じて情報通信技術や科学技術の学習機会を提供し、起業や事業化を支援している。最近は毎月定例の勉強会・交流会も開催している。

北海道 交流 SEM. 相談 M.L.

- 【名 称】旭川SOHO協議会
- 【種 別】公益法人・NPOなど
- 【所在地】北海道旭川市1条通8丁目348-3
繊維ビル4F 株式会社アイリンク内
- 【電話番号】(0166)21-4070
- 【メールアドレス】ウェブサイト上のメールフォームより
- 【ホームページ】<http://www.asc-net.jp/>
- 【備考】起業を考えている方も参加可能です。



旭川周辺で活躍するSOHO事業者の相互交流を推進する団体。業務提携や各種セミナーなど、お互いの得意分野を活かした協働事業を通じて地域経済の発展に寄与することを目的に活動する。会員は30代から60代と幅広い。定期的な例会やメーリングリストを通じてSOHO同士が仲間になり、情報交換や、起業への不安などを気軽に話し合える。

秋田県 交流 紹介 SEM. M.M. M.L.

- 【名 称】 特定非営利活動法人
あきたITこまちネットワーク
- 【種 別】 公益法人・NPOなど
- 【所 在 地】 秋田県秋田市上北手荒巻字堺切24-2
遊学舎内メールボックスNo.28
- 【電話番号】 (070)6955-5559
- 【E-Mail】 webmaster@it-komachi.net
- 【W e b】 <http://www.it-komachi.net/>



インターネットなどの情報通信技術を活用することで、女性が新しいライフスタイルを実現できるよう提案、支援するネットワーク。主に、秋田県の女性に対してIT活用のための講習会や起業セミナーなどを行い、スキルアップやSOHOビジネスなどの機会を提供する。正会員は非営利団体からの依頼を受けウェブサイト制作や管理などに従事している。

埼玉県 相談 交流 施設 紹介 SEM. M.L.

- 【名 称】 志木サテライトオフィス
- 【種 別】 インキュベーション施設
- 【所 在 地】 埼玉県志木市館2-5-2 鹿島ビル4F
- 【電話番号】 (048) 476-4600
- 【E-Mail】 info@telework.to
- 【W e b】 <http://www.telework.to/>



埼玉のSOHO・個人事業者のスタートアップオフィス（レンタルスペース、レンタルオフィス）などとして、10数年利用され続けている。インキュベーションとしては、多くの会社を育成した実績も持つ。NPO法人、学術団体、異業種交流団体の事務局機能も有し、テレワークのコンサルティングも行っている。

東京都 紹介 発注 SEM. M.M. SNS

- 【名称】Ivy SOHO
- 【種別】コミュニティ
- 【所在地】東京都渋谷区桜丘町26-1
セルリアンタワー 15F
- 【電話番号】(03)5456-5911
- 【E-Mail】ウェブサイト上のメールフォームより
- 【Web】http://www.ivysoho.com/
- 【備考】Ivy SOHOサイト(メンバー 8000名)へ登録したら、どなたでもSNSへ参加登録できます。



全国のSOHOワーカー 700名が参加し、仕事情報の交換を自由に行うSNS「We」などを持つウェブサイト。プロフィールにはくわしいスキルを掲載でき、スキル別の検索が可能。仕事情報を提供するメールマガジンもあり、セミナーも開催。また、オープンソースCMS「Geeklog」の活用を推進し、SOHOの起業や活動をサポートしている。

東京都 相談 交流 施設 紹介 SEM. M.L. ETC.

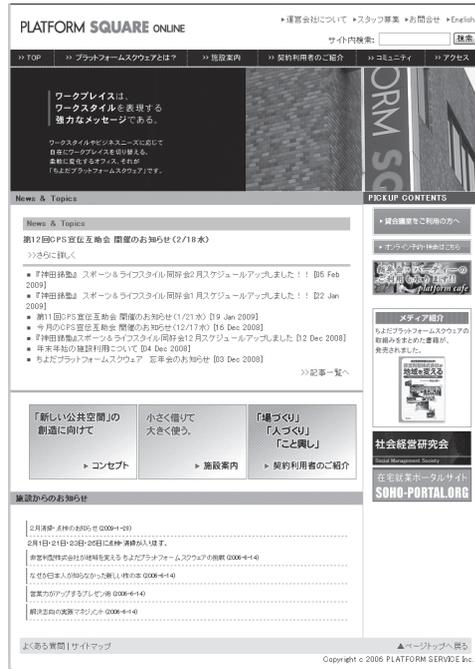
- 【名称】財団法人日本SOHO協会
- 【種別】公益法人・NPOなど
- 【所在地】東京都中央区日本橋茅場町1-12-2
樋口本店ビル7階
- 【E-Mail】jimukyoku@j-soho.or.jp
- 【Web】http://www.j-soho.or.jp/
- 【備考】・SOHO向けイベントの協賛、後援
・SOHO専門の唯一の公益法人であり、SOHO支援組織の活動への協賛、後援を積極的に行っている。

SOHO支援のために設立された総務省所轄の団体。SOHOによるITの効果的な活用を促すことを目的としている。シンポジウムなどの開催によりSOHOの社会的認知を広める活動を行っている。

東京都 相談 交流 施設 SEM, M.L.

- 【名称】ちよだプラットフォームスクウェア
- 【種別】インキュベーション施設
- 【所在地】東京都千代田区神田錦町3 - 21
- 【電話番号】(03) 3233-1511
- 【Web】<http://www.yamori.jp/>
- 【備考】施設の利用には支援機関（世話人）の推薦が必要。

千代田区の地域特性を踏まえた「SOHOまちづくり」を推進する総合拠点。SOHO同士が集い、新しいプロジェクトを生み出す拠点施設として機能している。専有ワークプレイス「クローズドネスト」、当日でも利用できる「オープンネスト」、会議室など、さまざまなファシリティを提供。周辺の企業と交流を深めるコミュニティも紹介している。



東京都 相談 交流 紹介 SEM, M.M.

- 【名称】@SOHO
- 【種別】公益法人・NPOなど
- 【所在地】東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア 1167
- 【電話番号】(03) 5259-8325
- 【E-Mail】info@atsoho.com
- 【Web】<http://www.atsoho.com/>
- 【備考】登録無料

利用者が国内最大級の、企業とSOHO、フリーランズが出会えるマッチングサイト。データ入力、ライティング、HPやブログ制作、ウェブ開発など、幅広い求人が探せる。SOHO検定や認定SOHO制度も主催するNPO法人日本ITイノベーション協会が運営し、認定マークが登録メンバーのプロフィールに掲載できる。



東京都 **相談** **交流** **SEM.** **SNS**

- 【名 称】 特定非営利活動法人フラウネッツ
- 【種 別】 公益法人・NPOなど
- 【所在地】 東京都港区南青山3-10-41-902
株式会社エフスタイル内
- 【電話番号】 (03) 6680-6148
- 【E-Mail】 ウェブサイト上のメールフォームより
- 【W e b】 <http://www.fraunetz.com>



SOHO、在宅ワーカー、在宅勤務、勤労者を中心に、主に女性にターゲットを絞り、支援を行っているNPO法人。

職業能力の開発を目的としたセミナー、異業種交流会等の開催や、SOHO・在宅勤務・在宅ワークについての相談、コンサルティングなどを行い、首都圏中心に活動している。

東京都 **交流** **SEM.** **ETC.**

- 【名 称】 三鷹SOHOポータル SOHOCITYみたか
- 【種 別】 任意団体
- 【所在地】 東京都三鷹市下連雀3-38-4
三鷹産業プラザ
- 【電話番号】 (0422) 40-9669
- 【E-Mail】 sohocityinfo@sohocity.jp
- 【W e b】 <http://www.sohocity.jp/>
- 【備 考】 SOHO事業者データベースによる検索機能とCMSによる情報発信機能



「SOHO CITYみたか構想」に基づき、株式会社まちづくり三鷹が運営する、SOHO関連の情報を集積したポータルサイト。三鷹周辺のSOHOのビジネスネットワークづくりを目的とする。インキュベーション機能を持つSOHO施設の紹介や企業紹介、イベント、勉強会、セミナー情報など、SOHOに向けた三鷹周辺の最新情報を提供。

富山県 相談 交流 SEM, M.L.

- 【名称】富山県SOHO協議会
- 【種別】公益法人・NPOなど
- 【所在地】富山県富山市下野16番地
富山市新産業支援センター 3F
株式会社サイト内
- 【E-Mail】info@soho.soho-toyama.gr.jp
- 【Web】http://www.soho-toyama.gr.jp/

富山県のSOHO活動を支援する非営利団体。SOHOという働き方のよりよい方向を模索し、SOHO同士の交流を図りネットワークを広げることが目的に、経営や法律などの勉強会・相談会を行っている。個人では得にくいさまざまな情報を入手してメーリングリストなどで提供し、仕事の依頼があれば情報を会員に公開している。

石川県 相談 交流 施設 SEM,

- 【名称】いしかわSOHOプラザ
- 【種別】公益法人・NPOなど
- 【所在地】石川県金沢市鞍月2-1
石川県IT総合人材育成センター 1F
- 【電話番号】(076) 268-1200
- 【E-Mail】soho@isico.or.jp
- 【Web】http://www.isico.or.jp/soho/

財団法人石川県産業創出支援機構が運営する石川県のSOHOビジネス支援サイト。SOHOと企業の橋渡しとなり、お互いのビジネスチャンスを広げることがめざす。SOHO事業者のPR情報や企業からの発注情報を掲載。マッチング、ビジネスセミナー、交流会を行っている他、無料相談窓口も定期的に設けている。

静岡県 相談 交流 施設 SEM. M.M.

- 【名 称】 SOHOしずおか
- 【種 別】 インキュベーション施設
- 【所在地】 静岡県静岡市葵区紺屋町3-10
中島屋ビル6F
- 【電話番号】 (054) 653-8800
- 【E-Mail】 info@soho-shizuoka.gr.jp
- 【W e b】 <http://www.soho-shizuoka.gr.jp/shizuoka/>



静岡市などが運営にあたる公的創業支援施設。インキュベーション施設として出発し、現在は「公的インキュベーターを核とした地域産業おこしの拠点」となっている。地元地方銀行からの出向者が「インキュベーションマネージャー」として常駐、施設の入居者だけでなく、起業を目指す人など、地域のビジネスのあらゆる相談に対応している。

滋賀県 相談 交流 施設 SEM. M.M.

- 【名 称】 滋賀SOHOビジネスオフィス
- 【種 別】 インキュベーション施設
草津SOHOビジネスオフィス
- 【所在地】 滋賀県草津市大路1-1-1
- 【電話番号】 (077) 566-8121
米原SOHOビジネスオフィス
- 【所在地】 滋賀県米原市下多良2-137
- 【電話番号】 (0749) 52-9200
- 【W e b】 <http://www.soho-shiga.jp/>



滋賀県が、県南部（草津市）、県北部（米原市）に開設したSOHOビジネスオフィス。ITを活用した新しいビジネススタイルとしてのSOHOをサポートするため、オフィススペース、高速通信回線、活動支援設備を備えている。また、地域におけるSOHO同士の交流やビジネス連携を推進し、SOHO型ビジネスの拠点となっている。

大阪府 相談 施設 SEM.

- 【名称】あきない・えーど
- 【種別】公益法人・NPOなど
- 【所在地】大阪府大阪市中央区本町1-4-5
大阪産業創造館2F
- 【電話番号】(06) 6264-9838
- 【E-Mail】info-akinai@sansokan.jp
- 【Web】http://www.sansokan.jp/akinai/



元気な大阪を創ることを目的に、大阪市の中
小・ベンチャー企業の創業・経営を支援する相
談窓口。大阪市のコンサルティング機関として、経営に関するさまざまな分野の専門家が、創
業を志す人や中小企業の経営課題を大阪らしいフレンドリーな対応でサポートする。インキュ
ベーションの役割を担う起業支援スペース「立志庵」も運営。

岡山県 相談 交流 施設 紹介 発注 SEM.

- 【名称】岡山SOHOビジネス推進協議会
- 【種別】公益法人・NPOなど
- 【所在地】岡山県岡山市西古松2-26-22
BIOプラザ
- 【電話番号】(086) 805-7739
- 【E-Mail】zenki@bio.gr.jp
- 【Web】http://www.okasoho.com/
http://www.bio.gr.jp/
(ビジネス・インキュベーター岡山)



岡山県内のSOHO支援のために、関連施設・団体・組織と連携し、SOHOビジネス・ベンチャー
を創出・育成する組織。SOHOと企業とのビジネス・マッチングやSOHO同士のコミュニケーションの場づくりのため、セミナーや展示商談会、交流会などの活動を行う。

事務局は、インキュベーション施設運営などの活動をしている「NPO法人ビジネス・インキュ
ベーター岡山」内にある。

高知県 交流 SEM. M.M.

【名称】特定非営利活動法人とさはちきんねっと

【種別】公益法人・NPOなど

【所在地】高知県高知市棧橋通5-1-56
ミナポート2F

【電話番号】(090) 8697-8158 (代)

【E-Mail】info@tosa8kin.cside.to

【Web】http://tosa8kin.cside.to/



地域の活性化、デジタルディバイド（情報格差）の解消、産官学民を結ぶコミュニティとして人的交流を促進することなどを目的とし、SOHO・テレワーカー支援、各種講座の開催などの活動を行う組織。インターネット県民塾「Kochiくろしお学校」と連携し、生き生きと暮らすための学びの場「はちきん塾」を運営している。

福岡県 相談 交流 紹介 M.M.

【名称】福岡SOHOサポートセンター

【種別】公益法人・NPOなど

【所在地】福岡県福岡市西区姪浜駅南
4-1-14-1F

【電話番号】(092) 894-6530

【E-Mail】info@sohofukuoka.com

【Web】http://www.sohofukuoka.com/



福岡県がSOHOの情報拠点として開設したSOHO支援ホームページ。ウェブ上に仕事の受発注システムを持ち、SOHO事業者のスキル別の登録や検索が可能で、仕事をしたい人と発注したい人の橋渡しをしている。スキルアップ支援のためのサポートセミナー、メールマガジン発行、相談対応など、幅広い活動を行っている。

佐賀県 交流 紹介 SEM, ETC.

- 【名称】さがSOHOネットワーク
- 【種別】公的支援拠点
- 【所在地】佐賀県佐賀市城内1-1-59
- 【電話番号】(0952) 25-7100
- 【E-Mail】koyouroudou@pref.saga.lg.jp
- 【Web】https://www.pref.saga.lg.jp/sy-contents/shikaku_shushoku/kinrosha/soho/
- 【備考】・登録事業者のブログをRSS配信
・SOHO事業者の登録は佐賀県内の方限定。(クライアント、エージェントは限定なし)



佐賀県が運営する、県内のSOHOを支援するウェブサイト。SOHO事業者とSOHOへ仕事を依頼したい企業・エージェントが出会う場をネット上で提供する。質問ができる掲示板や「SOHO便利帳」など初心者向けの情報が充実。

海外 相談 紹介 M.M.

- 【名称】SOHOビレッジ
- 【種別】コミュニティ
- 【所在地】Activewave Media Inc.
519-1917 West 4th Ave. Vancouver,
BC V6J 1M7 Canada
- 【E-Mail】info@sohovillage.com
- 【Web】<http://www.sohovillage.com/>



SOHOとSOHO、SOHOと発注者を結ぶコミュニティ。1996年開設とSOHO支援サイトの老舗的存在。ビジネスマッチングの仕組みを提供する「村の掲示板」では、仕事の案件を探し、また自分の仕事のアピールをすることができる。セミナーや交流会の情報もここで得られる。「村の会議室」では有益な情報交換が活発に行われている。

企業インタビュー

在宅ワークの発注等をしている企業に、業務内容や在宅ワークの発注形態などについて聞きました。

自社から直接発注している企業、エージェント的に発注企業と在宅ワーカーをつなぐ役割をしている企業、ビジネスマッチングサービスを行っている企業。

どんな企業がどんな形態で関わっているか知ることで、在宅ワークを行う上での参考にしてください。

【名 称】株式会社いわきテレワークセンター

【W e b】<http://www.iwaki-twc.co.jp/>

テレワークを主眼に置いた先駆的企業として、首都圏および地域企業、自治体などからアウトソーシングを受託し、いわきの地域ビジネスの活性化に貢献しています。テレワーカー登録を受け付け、エントリー業務、文章入力、ウェブ制作、テープ起こしなど、多くのテレワーカーへの業務発注実績を持っています。



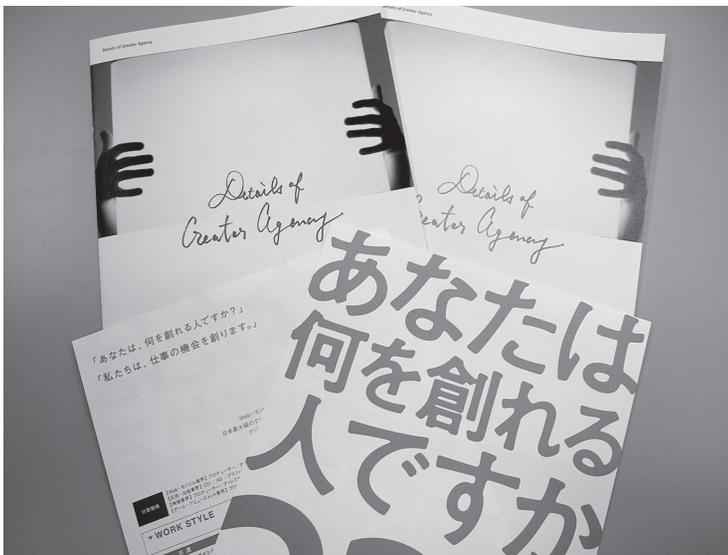
【名 称】株式会社クリーク・アンド・リバー社

【W e b】<http://www.cri.co.jp/>

プロフェッショナル・クリエイターとクライアント企業をつなぎ、エージェント・プロデュース・アウトソーシング・コンサルティング等の役割を果たす企業。ウェブ制作、出版、広告、ゲーム、映像制作などの分野で、クリエイターが能力を発揮し、企業の価値に貢献できる環境の構築をめざしています。

ウェブサイト「CREATIVE VILLAGE」

<http://creativevillage.ne.jp/>、「デジタルトキワ荘」<http://www.gamecreators.net/>等を運営しています。



【名 称】有限会社アंकオル

【W e b】<http://www.anqol.com/>

企業や行政などのアウトソーシングとさまざまなキャリア・スキルを持つSOHOとのマッチングを行うエージェント。主婦、退職者、障がいを持つなど、SOHOスタイルの仕事をもとめる人達が社会参加の機会が得られるよう、就業をネットワークの活用により支援しています。主な業務は、データ入力、文書作成、ウェブ制作、翻訳、テープ起こしなど。重度障がい者に対する企業への就職サポートも行っています。



【名 称】株式会社大和速記情報センター
 【W e b】http://www.yamatosokki.co.jp/

各種会議の議事録・速記録作成を主力とした情報処理の専門会社。速記→映像（録音録画）→ネット経由の配信までを請け負っています。



速記とシステム開発の相乗効果（IT速記：特許3668892号）で、クライアントの迅速な原稿作成をサポートしている。大阪・名古屋・福岡に営業所があり、会議の録音録画からの文字化（テープ起こし）

の在宅勤務者を常時募集（試験あり）し、約6カ月の研修後、業務発注を行っています。

【名 称】株式会社オフィスエム
 【W e b】http://www.officem.jp/

フリーランス・SOHOを中心にネットワークを構築し、仕事を外注するエージェント。ウェブ制作・システム開発・販売促進・画像加工・メルマガ作成など、あらゆるナレッジワークを請負って、随時適した登録者を募り、プロジェクトを遂行しています。またネットワーク会員の独立を支援し、営業ネットワークで企業の販売促進もサポートします。総登録会員は約2万人です。

【名 称】株式会社エフスタイル

【W e b】<http://www.f-st.biz/>

ITの活用によりワークライフバランスを実現させ、個性やスキルを活かせるワークスタイルを提供する会社です。広告・ウェブコンテンツ企画制作、翻訳、取材執筆、データ入力など多様な企業のニーズに応え、ベストなスキルを持つ人材をマッチングしています。



【名 称】株式会社ワイズスタッフ

【W e b】<http://www.ystaff.co.jp/>

インターネット上にオフィス環境を構築し、テレワーカーが通常の会社のようにチームで仕事をする、新しいテレワーク形態「ネットオフィス」を実践している会社です。北海道北見市と奈良県生駒市に拠点を置き、全国約140名（内海外5名）の契約テレワーカーがメインワーカーとして、さまざまなインターネットサービス業務を行っています。テレワーカーの教育制度も充実。契約テレワーカーの採用には、書類審査、実技試験、面接を実施しています。



【名 称】ワムネット

【W e b】<http://www.herstory.co.jp/wahm/>

女性の力を社会に活かすことを目的に、登録メンバーにウェブ制作・ライティング・モニター・イベントなどの仕事を提供する、株式会社ハー・ストーリィが運営するウェブサイト。自分の特技やスキルを活かし、在宅で働きたい人たちのために、無料のメールマガジンによる仕事情報の提供のほか、通信講座などでスキルアップを支援しています。登録メンバーは2万人超。

The screenshot shows the homepage of WAHM NCT. At the top, there's a navigation bar with 'WAHM NCT' and 'HER STORY' logos. Below the header, there are several main content blocks: a '私、そろそろお出かけできます' (I can go out soon) section with a 'CLICK!' button, a 'アフィリエイト入門講座' (Affiliate Marketing Beginner Course) advertisement, and a 'HER STORY' section. The left sidebar contains a 'ワムネットについて' (About Wahmnet) menu with links to '登録フォーム' (Registration Form), 'よくある質問Q&A' (FAQ), and 'お問い合わせ' (Contact Us). The right sidebar features 'ワムネットニュース' (Wahmnet News) with recent articles and 'ワムおたすけグッズ' (Wahm Help Goods) listing various items for sale.

【名 称】オフィスかりさら

【W e b】<http://www.karisara.com/>

2000年から、地元沖縄でインターネットを活用し、全国の在宅スタッフをネットワークした「バーチャルオフィス」の構築により業務を遂行する企業。県内外の企業・個人からの依頼を請け負い、登録スタッフから適した人材を募るプロジェクトチーム形式で業務にあたっています。これまでに1000回以上のセミナーや講演を行い、受講生をネットワーク化しています。



都道府県労働局 雇用均等室

雇用均等室は、

- ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保対策
- ・ 職業生活と家庭生活の両立支援対策

などの施策を推進する最前線として、各都道府県労働局内に置かれています。

雇用均等室では、以下のような業務を行っています。

<主な業務>

- 男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法等の周知・徹底
- 法律に基づく事業主に対する指導
- 労働者、学生、事業主の方々からの法律、助成金制度、トラブル等に関する相談受付
- 説明会、セミナー等の開催
- 労働者と事業主との間の紛争解決援助

ウェブサイト <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/roudoukyoku/>

	電話番号		電話番号		電話番号
北海道	(011)709-2715	石川	(076)265-4429	岡山	(086)224-7639
青森	(017)734-4211	福井	(0776)22-3947	広島	(082)221-9247
岩手	(019)604-3010	山梨	(055)225-2859	山口	(083)995-0390
宮城	(022)299-8844	長野	(026)227-0125	徳島	(088)652-2718
秋田	(018)862-6684	岐阜	(058)263-1220	香川	(087)811-8924
山形	(023)624-8228	静岡	(054)252-5310	愛媛	(089)935-5222
福島	(024)536-4609	愛知	(052)219-5509	高知	(088)885-6041
茨城	(029)224-6288	三重	(059)226-2318	福岡	(092)411-4894
栃木	(028)633-2795	滋賀	(077)523-1190 ^(※)	佐賀	(0952)32-7218
群馬	(027)210-5009	京都	(075)241-0504	長崎	(095)801-0050
埼玉	(048)600-6210	大阪	(06)6941-8940	熊本	(096)352-3865
千葉	(043)221-2307	兵庫	(078)367-0820	大分	(097)532-4025
東京	(03)3512-1611	奈良	(0742)32-0210	宮崎	(0985)38-8827
神奈川	(045)211-7380	和歌山	(073)488-1170	鹿児島	(099)222-8446
新潟	(025)234-5928	鳥取	(0857)29-1709	沖縄	(098)868-4380
富山	(076)432-2740	島根	(0852)31-1161		

(※)21年度中に移転予定

フレ－フレ－ネット

フレ－フレ－ネットは、財団法人21世紀職業財団の運営による、育児や介護と両立させて働く方のために情報を提供するウェブサイトです。

「育児」、「介護」、「家事代行」に関する全国の情報が、公共のものから民間のものまで検索できます。

次のような情報が掲載されています。

- ・ 育児情報…保育所、幼稚園、家庭保育、保育サポーター、ベビーシッター、放課後児童クラブなどの情報
- ・ 介護情報…高齢者向け福祉サービス、民間ホームヘルパー、看護師家政婦（夫）紹介所などの情報
- ・ 家事代行情報… 家政婦（夫）紹介所、家事代行サービスなどの情報

ウェブサイト <http://www.2020net.jp>

育児サービス・介護サービス情報
フレ－フレ－ネット
財団法人 21世紀職業財団

育児情報
保育所、幼稚園、家庭保育、保育サポーター、ベビーシッター、放課後児童クラブなどの情報はこちら

高年齢者向け福祉サービス、民間ホームヘルパー、看護師家政婦（夫）紹介所などの情報はこちら

家事
家政婦（夫）紹介所、家事代行サービスなどの情報はこちら

関連情報
免費・オンラインサービス

全国の育児・介護・家事代行のサービスに関する情報がご覧になります

本サイトは、財団法人21世紀職業財団が運営しています。
財団法人21世紀職業財団は、厚生労働大臣の指定法人として仕事と家庭の両立を支援する事業を行っています。
本サイトの育児情報・介護情報・家事代行情報をご覧いただいた上でお問い合わせがある方は、財団地方事務所までご連絡下さい。

Copyright © 2004-2008 21世紀職業財団 All Rights Reserved.

育児サービス・介護サービス情報
フレ－フレ－ネット
財団法人 21世紀職業財団

育児情報 | 介護情報 | 家事代行情報 | トップへ戻る ▲

育児情報
保育所、幼稚園、家庭保育、保育サポーター、ベビーシッター、放課後児童クラブなどの情報はこちら

- ▶ 保育所
- ▶ 相談窓口
- ▶ 保育サービスを提供する施設
- ▶ 育児をサポートしてくれる人
- ▶ その他

Copyright © 2004-2008 21世紀職業財団 All Rights Reserved.

育児サービス・介護サービス情報
フレ－フレ－ネット
財団法人 21世紀職業財団

育児情報 | 介護情報 | 家事代行情報 | トップへ戻る ▲

介護情報
高年齢者向け福祉サービス、民間ホームヘルパー、看護師家政婦（夫）紹介所などの情報はこちら

- ▶ 相談窓口
- ▶ 介護サービスを提供する施設
- ▶ 在宅サービスを提供する施設等
- ▶ その他

Copyright © 2004-2008 21世紀職業財団 All Rights Reserved.

育児サービス・介護サービス情報
フレ－フレ－ネット
財団法人 21世紀職業財団

育児情報 | 介護情報 | 家事代行情報 | トップへ戻る ▲

家事代行情報
家政婦（夫）紹介所、家事代行サービスなどの情報はこちら

- ▶ 家政婦（夫）紹介所
家庭で家事サービスが必要としている方に、家政婦（夫）を紹介しています。
- ▶ シルバー人材センター
会費は概ね60歳以上ですが、経験を生かし福祉・家事援助サービス(簡単な介護、掃除、洗濯、食事の支度など)を提供しています。
- ▶ 在宅ネットワーク・住民参加型福祉サービス
地域でお互いの助け合い・精神を生きかして、育児、介護、家事援助などのお手伝いをする、有償ボランティアのサービスです。

Copyright © 2004-2008 21世紀職業財団 All Rights Reserved.

消費者相談窓口

「この教材を購入して学べば在宅ワークの発注を保証する」などといってお金をだましとる悪徳商法が報告されています。

このような悪徳商法にはまず自分が用心することですが、万一のトラブルになった場合に相談できる消費者相談窓口をご紹介します。

■消費者相談室

	電話番号	受付時間
経済産業省消費経済対策課 消費者相談室（本省）	(03)3501-4657	10:00～16:00
北海道経済産業局消費者相談室	(011)709-1785 ^(※)	10:00～16:00（12:00～13:00除く）
東北経済産業局消費者相談室	(022)261-3011 ^(※)	10:00～16:00（12:00～13:00除く）
関東経済産業局消費者相談室	(048)601-1239 ^(※)	10:00～16:00
中部経済産業局消費者相談室	(052)951-2836 ^(※)	10:00～16:00
近畿経済産業局消費者相談室	(06)6966-6028 ^(※)	9:30～16:00
中国経済産業局消費者相談室	(082)224-5673 ^(※)	9:00～16:00（12:00～13:00除く）
四国経済産業局消費者相談室	(087)811-8527 ^(※)	9:00～16:00（12:00～13:00除く）
九州経済産業局消費者相談室	(092)482-5457・5458 ^(※)	9:30～16:30（12:00～13:00除く）
沖縄総合事務局経済産業部 消費者相談室	(098)862-4373 ^(※)	10:00～16:00（12:00～13:00除く）

(※)相談専用窓口

■消費生活センター

消費生活センターは、商品やサービスなど消費生活全般に関する苦情や問合せなど、消費者からの相談を専門の相談員が受け、公正な立場で処理にあたります（運営：独立行政法人国民生活センター）。

国民生活センターあるいは居住地の消費生活センターで相談できます。各地の消費生活センターの電話番号などは、国民生活センターのウェブサイトから調べることができます。

■国民生活センター

電話番号 (03)3446-0999（相談専用番号）

受付時間 平日 10時～12時、13時～16時

ウェブサイト <http://www.kokusen.go.jp/>

※ 関係団体における消費者相談窓口は、『[スタートアップ編]在宅ワークを始めるには』35ページに掲載しています。

ここでチェック!

Let's Check! あなたに役立つ支援拠点

この章でご紹介した中で、あなたの場合に役立つような支援拠点はありましたか？
ここで、あらためて振り返ってみましょう。

1) あなたが在宅ワークを目指す上で必要としているものは何ですか？

- 仕事を発注してくれる人が必要
- 仕事仲間が必要
- 仕事の相談に乗ってくれる人が必要
- スキルアップのための知識が必要
- 先輩たちの体験談を聞いてみたい
- 同じような立場の人と話してみたい
- 同じような立場の人とインターネット上で交流したい (SNSなど)
- キャリア形成のためのカウンセリングを受けてみたい
- いずれは自宅でなく外部にオフィスを持ちたい

2) その必要を満たすために役立つような支援拠点は掲載されていましたか？ リストアップしてみましょう。

3) リストアップした支援拠点のウェブサイトを実際に見てみましょう。

■Home Workers Webのおすすめコンテンツ◇

・在宅ワーク相談室スタートアップ事例集

無料で頒布されている小冊子です。先輩ワーカーがどんなふう在宅ワークをスタートし、軌道に乗せていったか、具体的な事例が掲載されています。

入手を希望する際は、返信用切手180円分を張った返信用封筒 (A5サイズ以上、冊子は四六版 (縦19センチ×横13センチ) です) を同封、「在宅ワーク相談室スタートアップ事例集希望」と朱書きの上、下記連絡先まで送付してください。

連絡先：財団法人社会経済生産性本部 社会労働部 在宅ワーカー支援事務局

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1

Coffee Break

まだある役立つ機関

在宅ワーカーに対する支援拠点と名乗っていなくても、在宅ワーカーに役立つ機関はいろいろあるものです。いくつか挙げてみましょう。

・税務署

税務署は怖いというイメージを持つ方がいますが、そんなことはありません。在宅ワーカーになれば確定申告もすることになります。わからないことがあったとき電話してみると、案外丁寧にやさしく教えてくれる税務署員さんが多いものです。

最寄りの税務署は、下記ウェブサイトから調べることができます。

国税庁 「国税局・税務署を調べる」

<http://www.nta.go.jp/soshiki/kokuzeikyoku/chizu/chizu.htm>

・タックスアンサー

やっぱり税務署に電話するのはちょっと気後れするというなら、タックスアンサーがお勧めです。国税庁によるインターネット上の税務相談室で、よくある質問に対する回答を税金の種類ごとに読むことができます。

国税庁 「タックスアンサー」

<http://www.nta.go.jp/taxanswer/>

・小規模企業共済

在宅ワーカーには退職金がありません。でも、自分で積み立てておいて、仕事をやめたとき受け取れる「小規模企業共済」という制度があります。確定申告するとき毎月の掛け金を控除に入れられる、有利な制度です。

経営者の退職金制度という言葉から、小規模な在宅ワーカーは「私も対象になるだろうか」と心配しがちですが、その点は問題ありません。

独立行政法人中小企業基盤整備機構 「小規模企業共済」

<http://www.smrj.go.jp/skyosai/>

おわりに

在宅ワークを始めるのは、会社員としての就職などとはかなり勝手が違います。でも、ここまで読んでくださった方なら、在宅ワークならではの方向性が見えてきたのではないのでしょうか。

- ・自宅を拠点に仕事をするというのは、決して1人ぼっちではないこと。
- ・発注者、仕事仲間、アドバイスしてくれる人など、人的ネットワークをつくることが一番大切であること。

きっと、それが理解していただけたと思います。それから、こんなことも大切でしたね。

- ・自分に合った職種を見つけること、いつもスキルアップを心がけること。
- ・周辺の職種へも積極的にトライしていくことで、新しい展望が開けること。
- ・困ったときは相談に乗ってくれる支援拠点があること。

特に、困ったとき相談できる場所があるというのは、在宅ワーカーにとって心強いものです。たしかに在宅ワークは自己責任・自助努力の世界ではありますが、手に余ったときは相談するというのも、自助努力のうちなのです。

人を見たら泥棒と思えということわざがあります。でも、これは在宅ワークの世界には当てはまりません。出会った人が仕事を発注してくれたり、アドバイスしてくれたりするかもしれないのです。人を見たら「ご縁」と思うような気持ちの持ちようが大切です。

最初はセミナーや交流会に参加するのちょっと気後れするかもしれませんが、でも、参加してみればたくさんの収穫があるものです。思い切って出かけてみてください。また、ネット検索など家にいてできる情報収集の手段もいろいろあります。インターネットを自在に使いこなしてみてください。

在宅ワーカーとしての第一歩を踏み出してみましょう。



在宅ワーク実践テキスト [実践・応用編] 仕事を獲得するための情報ノウハウ

2009年3月発行

編集・発行： 財団法人社会経済生産性本部
(2009年4月より、財団法人日本生産性本部に名称変更予定)
〒150-8307 東京都渋谷区渋谷 3-1-1
TEL.03-3409-1122 (社会労働部直通)
<http://www.homeworkers.jp> (ホームワーカーズウェブ)

事業委託： 厚生労働省
〒100-8988 東京都千代田区霞ヶ関 1-2-2 中央合同庁舎 5号館
TEL.03-3593-1211 (大代表)

協力： 株式会社エフスタイル <http://f-st.biz>
